

重点目標 1 全世代の健康を支える看護機能の強化

重点事業 1-1 地域における看護職の確保と活躍推進

事業内容

1. 訪問看護分野における次世代人材確保
2. 訪問看護師（新卒・新人）の教育体制の整備
3. 訪問看護ステーションの管理者への支援

実施内容

1. 訪問看護分野における次世代人材確保
 - 1) 県内訪問看護ステーションにおける訪問看護ふれあい看護体験・インターンシップ受け入れの定着
 - ①看護師学校・養成所への訪問
 - ②看護への道フェア、高等学校訪問での訪問看護の周知・広報
 - ③Iターン、Uターン者を対象とした広報活動
2. 訪問看護師（新卒・新人）の教育体制の整備
 - 1) 新卒・新人看護師の教育プログラム標準例の活用推進
3. 訪問看護ステーションの管理者への支援
 - 1) 訪問看護管理者研修の実施

実施報告

1. 訪問看護分野における次世代人材確保

- ・長崎県内の訪問看護ステーションは、19施設増加し、現在179施設である。新卒採用の受入れ体制を整えている事業所は内18ヶ所まで、採用の把握はできていない状況
- ・看護への道フェア、看護大学の就職説明会、長崎県合同説明会等へ参加し、広報・周知活動を実施
- ・高校生のふれあい看護体験は、2名受入れ
- ・インターンシップは、7名（看護大学生1名含む）の参加があり、内2名は就職

2. 訪問看護師（新卒・新人）の教育体制の整備

- ・「新卒（新人）訪問看護師育成プログラムの活用について」訪問看護サポートセンター（県委託事業）で県内訪問看護ステーション171事業所にアンケート調査実施（回収率は55%）新卒・新人の入職時教育体制に関する情報収集実施
- ・研修会等で「新卒（新人）訪問看護師育成プログラムの活用」、教育体制整備のさらなる周知を検討

3. 訪問看護ステーションの管理者への支援

- ・訪問看護サポートセンターでは、管理者（オンライン）研修、「BCP策定」「適正な運営」「経営のコツ」「人材育成のポイント」「高齢者虐待防止と訪問看護師の役割」の5研修実施。管理者交代や新設の事業所の管理者を含め、平均39名/回の参加
- ・新規事業所訪問や訪問看護ステーションへの電話・メールでの相談対応、情報提供実施
サポートセンターへの相談は、87.2%が訪問看護ステーションからで、その内管理者からの相談76.7%

重点目標1 全世代の健康を支える看護機能の強化

重点事業1-2 地域における健康・療養支援体制の強化に向けた取り組み

事業内容

1. 医療的ケア児の在宅移行推進
2. 各支部における看護職連携構築地域ネットワーク会議の継続支援

実施内容

1. 医療的ケア児の在宅移行推進
 - 1) 訪問看護、病院、周産期医療センター、学校、保育所等、医療的ケア児に関わる看護職・多職種への支援
 - ①研修会（各領域のニーズに即したタイムリーな研修の企画、実施）
 - ②交流会の開催
 - ③行政との情報共有
2. 各支部における看護職連携構築地域ネットワーク会議の継続支援
 - 1) 支部長会議における企画検討、情報共有
 - 2) 行政保健師、多職種への働きかけ、周知

実施報告

1. 医療的ケア児の在宅移行推進

- 1) 病院、訪問看護、特別支援学校、保育所、福祉施設等に勤務する看護職等への支援研修会（各領域のニーズに即したタイムリーな研修の企画、実施）
 - ・シミュレータを使用した研修会「学校や保育所等における医療的ケア児の緊急時の対応」
1回目 参加者25名 2回目 参加者25名
 - ・「小児訪問看護 基礎研修」参加者39名
 - ・「NICU等における在宅移行支援の実際」参加者31名
 - ・「医療的ケア児の姿勢管理や呼吸 ケア」参加者39名
 - ・「医療的ケア児に関わる看護職等の交流会」参加者74名

2. 各支部における看護職連携構築地域ネットワーク会議の継続支援

- ・県南、県央、県北の3支部において企画運営実施
- ・県南支部主催：「看看連携交流会」との合同開催 参加者 17名、県央支部主催：参加者39名、県北支部主催：参加者38名 ※内容は各支部事業報告にて掲載
- ・支部長会において、本会議の趣旨説明及び各支部との情報共有
- ・各支部で、企画検討を重ね、看護職が連携できるテーマを決定
- ・支部からの企画立案と開催周知についての相談対応及び行政保健師への働きかけ

重点目標 2 専門職としてのキャリア継続の支援

重点事業2-1 就業継続が可能な看護職の働き方の普及・支援

事業内容

1. 就業継続可能な働き方（5要因10項目）の周知・普及
2. ヘルシーワークプレイス（健康で安全な職場）の普及
3. ICT等の活用による看護業務の効率化の推進

実施内容

1. 就業継続可能な働き方（5要因10項目）の周知・普及
 - 1) 委員会、各支部、施設会員代表者会での周知・普及
 - 2) 職場での看護職員の処遇改善の取り組みの好事例の紹介
2. ヘルシーワークプレイス（健康で安全な職場）の普及
 - 1) ホームページや協会だよりによる周知・普及
3. ICT等の活用による看護業務の効率化の推進
 - 1) ICTの活用に関する情報提供及びICT活用についての好事例の紹介

実施報告

1. 就業継続可能な働き方（5要因10項目）の周知・普及

- 1) 労働環境委員会や各支部で、就業継続可能な働き方（5要因10項目）の周知・広報
労働環境委員会で「タスク・シフト／シェアの推進に関する実態調査」を実施
回収率 65.9%
看護職が実際に働いている環境について、ホームページ等で周知
- 2) 「看護職が生涯を通じて健康かつ安全に働き続けられるために、必要な考え方や視点の理解を深めると共に情報共有を行い、自施設の課題を見出すことができる」として委員会、各支部、施設会員代表者・看護管理者等交流会を2月8日に実施、日本看護協会 森内常任理事による「就業継続が可能な看護職の働き方の提案」の講演後、「就業継続が可能な職場について」グループワークを実施し、各施設での取り組みや課題、対策等について意見交換、その後発表：参加28施設、38人

2. ヘルシーワークプレイス（健康で安全な職場）の普及

- 1) ホームページや協会だよりで定期的に情報提供

3. ICT等の活用による看護業務の効率化の推進

- 1) 施設訪問で得た各施設の処遇改善の取り組みや工夫から、ICT導入が進んでいる施設の情報を好事例として会報91号（1月発行）で紹介

重点目標2 専門職としてのキャリア継続の支援

重点事業2-2 看護職のキャリアの構築支援

事業内容

1. 地域における看護職確保
2. 新人看護師の職場適応への支援
3. 看護学生のキャリア構築支援

実施内容

1. 地域における看護職確保
 - 1) ナースセンターにおける活用可能なデータの収集、分析などの検討
 - 2) 施設訪問による実態把握
 - 3) 行政との連絡会議等の開催
2. 新人看護師の職場適応への支援
 - 1) 看護関係者が一堂に会する連携・協議の場の設置
 - 2) 課題の共有・課題解決に向けた方策の検討
3. 看護学生のキャリア構築支援
 - 1) 看護師等学校養成所のキャリア教育の実態把握
 - 2) 医療機関・施設等の新人看護師教育計画策定に向け情報提供

実施報告

1. 地域における看護職確保

- ・「令和4年度看護職員離職者調査・令和5年度需要調査」実施
調査対象1,627施設、回答率：看護職員離職者調査71.0%、需要調査70.7%
- ・日本看護協会委託事業「地域に必要な看護職確保推進事業」を受託。長崎・西彼地域の介護老人保健施設等の看護職確保を目的に実施（ワーキング会議3回、施設訪問31施設、「未就業看護職の研修会・交流会」「事業所説明会・面談会」を実施、参加者のうち4名就職活動、2名就職）
- ・日本看護協会委託事業「自治体保健師の活動内容や魅力発信のためのイベント」を受託
参加者48名
- ・各医療機関への施設訪問の実施（76か所）

2. 新人看護師の職場適応への支援、3. 看護学生のキャリア構築支援

- ・研修センターや支部等と協働した「看護職の生涯学習ガイドライン」等の周知活動
- ・看護学生の臨地実習の充実、新卒看護職員の離職防止に向けた教育現場との連携による取組みについて関係団体へ話題提供
- ・看護キャリア支援センターの新人看護職員研修（全4回）交流会（全4回）の開催
21施設（県南8施設・県央7施設・県北6施設）から参加者61名
新人看護職員の離職に対する思いや考え及び本研修の効果への期待度についての実態調査
- ・支部、看護師職能委員会による新人教育等に関連した研修会・交流会の開催
- ・看護師等学校養成所でのキャリア教育についての考え方、実際の取り組み内容等の実態調査
看護師等学校養成所8校 11教育課程
- ・実習指導者、教育担当者、看護師等学校養成所等での意見交換を開催 参加者57名
各教育機関の看護学生のキャリア教育計画と各医療機関等の新人教育計画を参照し課題共有、課題解決に向けた方策について検討

重点目標 2 専門職としてのキャリア継続の支援

重点事業2-3 質の高い看護実践を支える生涯学習の推進

事業内容

1. あらゆる場で働く看護職に求められる能力を養うための研修の実施とキャリア支援
2. 中小規模施設等に勤務する看護職の継続教育及びクリニカルラダー活用推進への支援

実施内容

1. あらゆる場で働く看護職に求められる能力を養うための研修の実施とキャリア支援
 - 1) 看護職の資質向上と人材育成を図るためにあらゆる領域で多彩な研修の企画・提供
 - ①自身にあった研修選択、どの場においても発揮される看護実践能力を示した教育計画の周知
 - ②新たな生涯学習支援に関する情報提供
 - 2) 研修受講履歴管理の一元化に向けたICT導入の検討
 - 3) 継続教育に携わる関係者への情報提供と教育担当者会の開催
 - ①支部交流会の企画支援と情報提供
 - ②新たな生涯学習支援に関する情報提供
2. 中小規模施設等に勤務する看護職の継続教育及びクリニカルラダー活用推進への支援
 - 1) 中小規模施設、介護施設、診療所等に勤務する看護職者への継続教育の周知
 - 2) クリニカルラダーの推進のための研修企画と支部活動へつなぐ情報提供

実施報告

1. あらゆる場で働く看護職に求められる能力を養うための研修の実施とキャリア支援
 - 1) 看護職の資質向上と人材育成を図るためにあらゆる領域で多彩な研修の企画・提供
 - ・2023年度教育計画タブロイド版 11,500部作成、会員1部、関係職能17団体各5部送付
 - ・研修受講実績：101%（目標値：2,403名に対し、受講者数：2,433名）
 - ・研修分類 1 18研修 日数 27日 受講者数 274名
 - ・研修分類 2 19研修 日数 31日 受講者数 895名
 - ・研修分類 3 10研修 日数 15日 受講者数 508名
 - ・研修分類 4 2研修 日数 3日 受講者数 60名
 - ・研修分類 5 6研修 日数 74日 受講者数 246名
 - 2) 研修受講履歴管理の一元化に向けたICT導入の検討
 - ・令和6年4月研修管理システム「マナブル」導入に向けて、プロジェクトチーム結成、検討会および運用操作方法7回実施
 - ・令和6年3月12日施設代表者向け施設登録方法説明会開催、令和6年4月16日公開
 - 3) 継続教育に携わる関係者への情報提供と教育担当者会の開催
 - ・「看護職の生涯学習ガイドライン」6月公表後、会員および会員施設へ広報周知
 - ・10月7日、教育委員、支部教育担当者等へ「看護職の生涯学習ガイドライン」説明会動画配信
 - ・生涯学習支援セミナー開催案内の広報周知
2. 中小規模施設等に勤務する看護職の継続教育及びクリニカルラダー活用推進への支援
 - 1) 中小規模施設、介護施設、診療所等に勤務する看護職者への継続教育の周知
 - ・非会員希望者、群市14医師会、新人看護職員研修受講者へ教育計画配布
 - 2) クリニカルラダーの推進のための研修企画と支部活動へつなぐ情報提供
 - ・看護師のクリニカルラダーⅠ【基礎編】1日（受講者39名、16施設、うち中小施設13施設）
 - ・看護師のクリニカルラダーⅡ【実践編】2日（受講者21名、13施設、うち中小施設10施設）
 - ・支部長会で受講状況を情報提供、また、作成した自施設のクリニカルラダーは受講者承諾後、支部活動等へ成果物を提供

重点目標3 地域における健康と療養を支える看護職の裁量発揮

重点事業3-1 看護の専門性を発揮するタスク・シフト/シェアの周知・拡大

事業内容

1. タスク・シフト/シェアの推進

実施内容

1. タスク・シフト/シェアの推進
 - 1) ホームページや協会だよりでの情報提供
 - 2) 施設会員代表者・看護管理者等交流会での情報提供
 - 3) 委員会・各支部による課題抽出
 - 4) 看護補助者の確保・定着推進の取り組み

実施報告

1. タスク・シフト/シェアの推進

- 1) ホームページや協会だよりでの情報提供
 - ・以下2) 3) 4) のタスク・シフト/シェアの取り組みやアンケートの結果をホームページや協会だよりで情報提供
- 2) 施設会員代表者・看護管理者等交流会での情報提供
 - ・労働環境委員会でタスク・シフト/シェアの取り組みについて県内50床以上の病院135カ所にアンケートを実施し、タスク・シフト/シェアの取り組みについて現状把握および課題の抽出調査結果をホームページへ掲載し情報提供。
 - ・特定行為研修修了者の活動状況や今後の支援体制について交流会・シンポジウムを開催
- 3) 委員会・各支部による課題抽出
 - ・各支部では、各施設のタスク・シフト/シェアに対する情報交換会や報告会を実施
- 4) 看護補助者の確保・定着推進の取り組み
 - ・日本看護協会委託事業「看護補助者キャンペーンウィーク事業」を受託し、7月よりチラシ作成し、ハローワークを中心に、会員施設へもチラシ配布
 - ・「看護補助者」の仕事についての研修・体験会を実施
 - ・日本看護協会の「地域に必要な看護職確保推進事業」を受託し、介護施設を中心に施設訪問し、補助者の確保・定着状況について情報収集

重点目標3 地域における健康と療養を支える看護職の裁量発揮

重点事業3-2 特定行為研修修了者の活躍支援

事業内容

1. 特定行為研修修了者に関する現状把握
2. 特定行為研修修了者の活躍支援

実施内容

1. 特定行為研修修了者に関する現状把握
 - 1) 長崎県内の医療施設等、施設代表者への調査をもとに現状把握
 - 2) 特定行為研修修了者を増やすための活動支援
2. 特定行為研修修了者の活躍支援
 - 1) 特定行為研修修了者の活動状況の情報発信
 - ①シンポジウム・交流会の開催
 - ②特定行為研修修了者の活動報告

実施報告

1. 特定行為研修修了者に関する現状把握

- ・特定行為研修の認知度の確認、周知目的で令和5年3月に県内病院147、診療所1,165、訪問看護ステーション161、老人保健施設61、老人福祉施設113 計1,647施設に対して周知・普及に関するアンケートを実施し、分析、更に分析結果の周知
- ・同年10月に特定行為研修修了者の活動状況のアンケート実施、結果の周知

2. 特定行為研修修了者の活躍支援

- ・特定行為運営委員会 1回・推進委員会 1回開催
アンケート結果報告、実践集作成、講演会・シンポジウム企画
- ・実践集作成及び周知
令和5年12月実践集作成のために投稿依頼
令和6年3月配布
- ・講演会・シンポジウムの開催 参加46名
「長崎県における看護師の特定行為を問う～未来への第一歩～」をテーマに、行政及び医師の立場から「長崎県における看護師の特定行為への期待」と題して講演。「特定行為の看護師の活躍の実際」を2施設の看護管理者、特定行為看護師より報告し、シンポジウムを実施

重点目標 4 地域の健康危機管理体制の構築

重点事業4-1 新興感染症の対応

事業内容

1. 新興感染症における会員施設との情報共有
2. 新興感染症に対する看護職の負担軽減

実施内容

1. 新興感染症における会員施設との情報共有
 - 1) 病院・施設における医療・介護提供体制の情報収集
 - 2) 行政・他団体との連携
2. 新興感染症に対する看護職の負担軽減
 - 1) 介護施設等の体制整備の支援
 - 2) 医療逼迫時の求人対応

実施報告

1. 新興感染症における会員施設との情報共有

- ・新型コロナウイルス感染症が、令和5年5月8日より2類相当から5類に移行
5類へ移行後も病院施設は厳しい状況であることから、今後も引き続き情報収集を継続
- ・県主催の長崎県感染症対策委員会に委員として会議に参加、新興感染症に備えて、県は、入院・療養施設の確保、検査がスムーズに実施できるシステム作り、介護施設の対策等、具体的な計画を立案、看護協会として協力

2. 新興感染症に対する看護職の負担軽減

- ・介護施設等の体制整備の支援については、看護職確保のための施設訪問時、現状確認
- ・8月末までホームページに相談窓口を設置
- ・ナースセンターは、常に求人対応が出来るように、潜在看護師の登録等も含めて準備

重点目標 4 地域の健康危機管理体制の構築

重点事業4-2 自然災害発生における対応及び看護活動支援

事業内容

1. 自然災害における会員施設との情報共有
2. 災害支援ナース登録の推進

実施内容

1. 自然災害における会員施設との情報共有
 - 1) 自然災害時、会員への情報発信、情報共有
2. 災害支援ナース登録の推進
 - 1) 法改正に伴う、現行の登録者移行への支援
 - ①災害支援ナース登録者、看護管理者への周知
 - ②看護管理者への協力依頼
 - ③新たに災害支援ナースに追加され必要となる研修受講に向けての支援

実施報告

1. 自然災害における会員施設との情報共有

- ・ 令和6年1月1日の能登半島地震発生→日本看護協会からの災害状況の速報をホームページに掲載
長崎県看護協会のホームページと日本看護協会の災害速報をリンクさせ、情報発信
- ・ 災害支援ナース及び所属施設へ派遣準備の依頼。派遣要請なし
- ・ 協会だよりで支援金を呼びかけ、石川県看護協会へ200万円を送金

2. 災害支援ナース登録の推進

- ・ 令和5年3月、新しい「災害支援ナース」について日本看護協会からの説明会を受け、令和5年4月、行政との情報交換を実施
- ・ 令和5年6月の通常総会で、災害支援ナースの仕組みが変わることを重点事業の一つとして今後進めていく事を説明。同年8月8日に施設会員代表者・看護管理者等交流会で、新しい仕組みについて説明、9月2日「災害支援ナース交流会」で災害支援ナースとして登録している会員への制度説明
- ・ 災害支援ナース交流会では、再度今後の災害支援ナースについて説明。又、これまでに派遣等をされた災害支援ナースの講演実施（参加者17名）
- ・ 令和6年1月23日、2月6日に災害編、1月24日、2月7日に感染編の2回の演習実施（修了者56名）

事業内容

1. 組織の強化

実施内容

1. 入会促進（会員の確保）目標数：会員10,100人
 - 1) 入会数減についての現状分析と課題の明確化
 - 2) 入会促進のための具体策の検討と実施
 - ①施設訪問により看護管理者との情報交換
 - ②協会活動の広報の検討
2. 「長崎県看護協会あり方検討委員会」並びに「長崎会館移転検討委員会」からの提言をもとに具体的な計画の立案と実施
 - 1) 長崎会館解体に伴う移転計画についての協議
 - 2) 組織について、健全運営についての検討

実施報告

1. 入会促進（会員の確保）

- ・令和5年7月、日本看護協会主催「都道府県看護協会 会員情報管理情報交換会」へWEB参加し、各県協会の入会促進についての取組み状況を情報共有
- ・「令和4年度退会者届出」による現状確認
主な退会の理由:20～30歳代→産休育休、60歳代→定年、その他→転出、転職、会費負担が多かった。
なお、年代全体をとおして、雇用形態の変更、研修に参加できない等が主な理由
- ・協会事業の協力依頼のための施設訪問の実施（病院、福祉施設、看護養成校）
- ・会員目標数を10,100人と掲げたが、令和5年度の会員数9,831人

2. 「長崎県看護協会あり方検討委員会」並びに「長崎会館移転検討委員会」からの提言をもとに具体的な計画の立案と実施

- ・「平成29年5月の理事会で承認された内容」を踏まえ、業務執行理事会において検討協議を重ね、令和5年7月の理事会で、令和5年度の取組みについて説明
- ・令和5年7月～9月、12月、県南支部運営委員及び在宅支援事業部職員へ移転に向けた説明会及び進捗状況報告の実施（候補物件等の紹介等）
- ・「会報」及び「協会だより」において進捗状況について記事掲載
- ・令和6年1月の理事会において、長崎会館移転後の組織運営を円滑にするためには、在宅支援事業部の健全な経営運営も必要なことから、課題解決に向けた事業所運営（訪問看護ステーションの統合、ヘルパーステーションの機能強化）及び移転場所について提案し、承認

令和5年度 事業報告

令和5年4月1日～令和6年3月31日

※下線は新規事業・〈 〉は重点事業

1. 継続教育及び看護学会等学術集会に関する事業（公益目的事業）

事業内容

1-1) 継続教育に関する事業

1. あらゆる場で働く看護職に求められる能力を養うための研修の実施とキャリア支援《重2-3》

- (1)看護職の資質向上と人材育成を図るためにあらゆる領域で多彩な研修の企画・提供
 - ・計画54研修：54研修終了
 - ・追加計画1研修：1研修終了
 - ①社会情勢・介護の現状を考慮し、看護実践能力向上に繋がる研修企画・運営・評価
 - ・教育委員会開催1回/月（12回）
 - ・研修実施後の評価、実施録まとめ—2022年度実施録6月ホームページ掲載
 - ・支部、職能委員会との情報共有一職能・支部企画交流会の教育計画掲載
 - ・介護施設等における看護実務者研修の開催（県受託研修）12/5・6・7開催 応募67名、受講55名、修了53名
 - (2)研修効果を高めるための研修形態の提供
 - ・県内どの地域にいても受講可能なオンライン研修：26研修
 - ・情報交換、ネットワーク作りで学習効果を発揮する集合研修：23研修
 - (3)日本看護協会との連携による研修提供
 - ①日本看護協会インターネット配信研修オンデマンドを活用した「医療安全管理者養成研修」
 - ・7/3～ オンデマンド開始55名、12/21集合演習開催53名修了
 - ②JNA収録DVD研修「認知症高齢者の看護実践に必要な知識」
 - ・第1回：9/5・6開催 61名修了
 - ・第2回：9/26・27開催 59名修了
 - ③日本看護協会オンデマンド活用した「看護補助者の活用推進のための看護管理者研修」
 - ・第1回：6/12～オンデマンド開始59名、7/20集合演習開催58名修了
 - ・第2回：7/19～オンデマンド開始64名、8/23集合演習開催64名修了
 - (4)資格認定教育 認定看護管理者教育課程の企画・運営・評価
 - ①認定看護管理者教育課程教育運営委員会の開催6回/年 ①4/22②7/9③9/10④12/2⑤1/20⑥3/7
 - ②認定看護管理者教育課程ファーストレベル
 - ・第1回：5/18～9/24 受講者47名、科目履修生1名、修了者48名
 - ・第2回：10/6～1/28 受講者44名、修了者44名
 - ③認定看護管理者教育課程セカンドレベル
 - ・6/30～12/10 受講者31名、科目履修生1名、修了者29名
 - ④認定看護管理者教育課程修了者看護管理実践報告会
 - ・6/18 2022年度第2回ファーストレベル看護管理実践報告会：修了者43名中、参加報告36名、紙上報告7名
 - ・9/3 2022年度セカンドレベル看護管理実践報告会：修了者32名中、参加報告25名、紙上報告5名
 - ・2/18 2023年度第1回ファーストレベル看護管理実践報告会：修了者47名中、参加報告42名、紙上報告5名
 - ⑤日本看護協会認定部との連携
 - ・8/2認定看護管理者教育機関担当者会議：専任教員2名参加
 - ⑥認定看護管理者教育機関認定更新審査
 - ・6/14審査申請(オンライン)、6/15申請書提出、8/4申請情報(オンライン)提出、11/8視察員2名による現地視察、2/7審査結果「認定（付帯事項付き）」
 - 2/18付帯事項に基づき改善した2024年度募集要項・学習要項提出
 - 3/18認定証受領（1/18付）
 - (5)研修受講履歴管理の一元化に向けたICT導入の検討
 - ・7/4研修管理システム導入と導入計画案について業務執行理事会にて概要説明
 - ①ICT導入に向けたプロジェクトチームの立ち上げと検討会の開催：10回
 - ・マナブルの理解と導入計画、メンバー9名、9/26よりシステム導入発注（本協会の体制と役割確認）
 - ・操作運用方法サポート
 - ②2024年度導入計画立案と実施に向けた会員への周知方法の検討
 - ・3/12公開に向けて会員施設代表者説明会開催 2024年4月16日マナブル公開予定（利用登録・研修申込）
 - ・協会だより、ホームページへの掲載周知

事業内容

(6) 継続教育に携わる関係者への情報提供

① 支部交流会企画支援

- ・ 支部担当者からの企画実施における相談への支援、情報提供：
「看護師のクリニカルラダーⅠ【基礎編】」研修受講状況について7/15支部長会情報提供
「看護師のクリニカルラダーⅡ【実践編】」研修受講状況について9/18支部長会情報提供
- ・ 教育担当者会開催1回/年 必要時、支部長会へ参加し情報提供：

② 新たな生涯学習支援体制「生涯学習に関するガイドライン（日本看護協会）」の情報提供と周知

- ・ 教育担当者会での情報共有と普及に向けた活動：
7/26都道府県看護協会教育担当役員向け「看護職の生涯学習ガイドライン」オンライン説明会12名参加
10/5教育担当者向け「看護職の生涯学習ガイドライン」説明会録画配信、教育委員9名、支部担当者7名参加
12/9「生涯学習支援セミナー」1/30開催、施設代表者Fax・ホームページ周知
- ・ 研修会やホームページ、協会だよりを通じた情報発信：
協会だより8月・9月・10月号にて掲載、研修会講義開始前・昼休憩時の幕間を活用したスライド投影

③ 研修センター運営委員会の開催 2回/年：10/20、11/28

2. 中小規模施設に等に勤務する看護職の継続教育及びクリニカルラダー活用推進へ向けた支援

(1) あらゆる場の看護職（中小規模施設、介護施設、診療所等）への周知の強化

① 教育計画タブロイド版等を活用した広報・周知活動：施設訪問時の配布依頼

- ・ 教育計画タブロイド版の県内施設への送付：3/15会員施設、他団体施設、4月以降新入会員へ送付

(2) クリニカルラダー推進のための研修会開催

- ・ 導入に向けた基礎的な考え方【基礎編】7/22オンライン 19施設39名参加、うち中小施設16施設
- ・ 自施設に合わせた作成と活用【実践編】①9/3オンライン②9/23集合 13施設21名 うち中小施設10施設
：応募延長、応募者からの相談対応、研修参加者からの相談支援
- ・ 支部担当者からの企画実施における相談への支援：研修受講者が作成した自施設ラダー成果物の提供情報発信
- ・ 中小規模施設、介護施設診療所等に勤務する看護職者への継続教育の周知：研修会開催時広報情報提供
- ・ クリニカルラダーの推進のための研修企画と支部活動へつなぐ情報提供：支部長会で情報提供①7/15②9/18

1-2) 受託・補助事業等の企画・運営

(1) 長崎県訪問看護サポートセンター事業「訪問看護師養成講習会」：7/11～12/10 27名、修了26名

- ・ eラーニング7/8～開始、集合研修8回開催①7/21②7/22③8/20④9/10⑤10/6⑥10/7⑦12/1⑧12/2
- ・ 施設実習11/1～21（3日間）、12施設26名

(2) 長崎県看護職員認知症対応力・実践力向上等研修事業

① 長崎県看護職員認知症対応力・実践力向上研修

- ・ 11/22、23、12/3開催 応募89名、受講者67名、66名修了
- ・ 事業検討会：①5/14②6/11③8/6④10/15⑤11/12⑥1/14

② 介護施設等における看護実務者研修

- ・ 12/5・6・7開催 応募67名、受講者55名、54名修了
- ・ 事業検討会：①8/29②9/26③10/24④11/21⑤1/30

1-3) 図書室運営に関する事業

(1) 図書室の運営・整備・利用者支援

- ・ 図書室利用状況：会員42名、非会員8名

① 図書・雑誌の収集・整備・管理

② 図書・看護文献情報提供、管理

(2) 文献検索支援、文献複写サービス（来館・郵送）

1-4) 看護学会等学術集会に関する事業

(1) 長崎県看護学会学術集会の開催 9/9開催

① 学会委員会開催 10月～8月1回 学会月は3回 合計14回

② 長崎県看護学会学術集会の企画・運営・評価

9/9ハイブリッド開催（Zoom利用）参加者240名（来館118名、オンライン114名、委員8名）

テーマ：ひと・地域をつなぐ長崎県産看護 —SDGs 私たちができること—

特別講演 講師：千葉大学大学院看護学研究院看護学研究科・看護学部 教授 手島 恵

18演題（口演18題）

③ 学会委員・査読委員合同会議、協力委員との合同会議

- ・ 3/12開催 参加者17名

事業内容

(2)長崎県看護学会誌の発刊

- ①学会誌編集委員会開催 1回/月(1回)
 - ・投稿応募者なしのため学会誌の発行なし
 - a 査読員の人材確保(査読員のデータベースの作成と管理)
 - b 査読能力向上のための研修(査読員を対象とした研修の企画・運営・評価)
 - ・1/15～2/29 Web配信(申込者41名)
 - c 掲載論文確保のための検討(学会誌のPR活動・他の委員会との連携会議)

(3)支部看護研究会等の開催 支部事業報告参照(県南・県央・対馬)

(4)研究助成に関する事項

- ①研究助成金交付(受付期間4/1～6/30)応募なし

(5)他団体学会等への後援並びに協力

- ①長崎県国保地域医療学会への協力
 - ・10/28開催 研究発表者1名(大村市医師会在宅サポートセンターまちなか保健室の看護師)を推薦
- ②長崎県総合公衆衛生研究会への協力

2. 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益目的事業)

事業内容

2-1) 勤務環境改善への取り組み支援事業

(1)労働環境委員会の開催 1回/月(12回)

- ①労働環境管理上の問題点、課題等の情報交換
- ②普及啓発 協会ホームページ更新「健康で安全な職場を目指す情報室」(労働環境に関わる新情報等)
- ③ナースセンター・看護キャリア支援センターとの連携

(2)就業継続が可能な看護職の働き方の周知・普及《重2-1》

- ①委員会、各支部、施設会員代表者・看護管理者等での周知・普及
2/8 第2回施設会員代表者・看護管理者等交流会 参加者38名

基調講演「就業継続が可能な働き方の提案」

講師：日本看護協会常任理事 森内みね子

グループワーク「自施設の就業可能な職場について」

- ②職場での看護職員の処遇改善の取り組みの好事例の紹介
- ③施設訪問により処遇改善の情報提供
- ④協会ホームページ更新「健全で安全な職場を目指す情報室」(労働環境に係る新情報等)

(3)看護の専門性を発揮するタスク・シフト/シェアの周知拡大《重3-1》

- ①ホームページや協会だよりでの情報提供
- ②病院・施設にアンケートを実施し、タスク・シフト/シェアの取り組みについて現状把握及び課題抽出(労働環境委員会)
10月アンケート実施し、集計結果を2月にホームページへ掲載(調査対象：県内50床以上の病院135ヶ所)
令和6年度総会要綱へ掲載
- ③調査結果を施設会員代表者・看護管理者等交流会に情報提供

(4)ヘルシーワークプレイス(健康で安全な職場)の普及

- ①ホームページや協会だよりによる周知・普及

(5)ICT等の活用による看護業務の効率化の推進

- ①ICT等の活用に関する情報提供及びICT活用についての好事例の紹介
会報91号(1月発行)

(6)看護補助者の確保・定着推進の取り組み《重3-1》

- ①日本看護協会の動向について情報提供
- ②看護補助者の仕事についての広報
 - ・5月 日本看護協会「看護補助者の確保・定着に向けたキャンペーンウィーク事業」受託
 - ・「看護補助者お仕事体験&説明会」
9/7(諫早地区)参加者6名、9/14(長崎地区)参加者4名、9/28(佐世保地区)参加者2名

2-2) 看護職の就業支援事業

(1)就業促進支援の推進(長崎県ナースセンター事業：県委託による)

- ①就業に関する相談支援

事業内容

- ・ ナースセンター事業所内相談（諫早・長崎・佐世保）
 - a LINE（ビデオ通話）活用による予約相談
 - b 情報発信の強化
 - 求人登録数605名 求職登録者数631名 就職者数363名
 - LINE登録者170名 相談件数：40件（うちビデオ通話1件） 情報配信21件
 - LINE活用情報配信：「復職支援研修」「プラチナナース研修」「看護への道フェア」
 - 求人情報（急募、雇用条件の変更、施設訪問情報等）
- ・ 移動相談
 - a ハローワーク：定例相談（諫早・大村・長崎・佐世保：1回/月、島原1回/3ヶ月）
フリー面談会（長崎）、事業所ミニ面談会（佐世保）
 - b サテライト相談所（メルカつきまち：1回/月）
ハローワーク相談者数：111名（諫早25名、大村18名、長崎42名〔長崎32名、メルカつきまち10名〕、
島原8名、佐世保18名）
フリー面談会（長崎）11回：事業所51施設・求職相談者20名
 - c 施設訪問（求人施設への求職者の就労ニーズを踏まえた働き方の提案等の支援強化）
150件
 - d 看護職員合同就職セミナー（県主催）への参加1/14
 - e 移住サポート相談会（県主催）への参加
 - リアル相談会（福岡）6/10相談者0名
 - オンライン相談会 10/21・10/22：相談者0（申し込みキャンセルのため）
2/17：相談者0（申し込みキャンセルのため）
 - 移住促進イベント（東京）3/2：相談者1
- ・ 求人・求職情報の把握と提供
 - a 求職者・求人施設の登録者の現状把握：1回/6ヶ月
求人施設719件・求職者793件
 - b 求人情報一覧の作成・配布
 - 5/10付け求人情報一覧470通送付
 - 10/2付け求人情報一覧409通送付
- ・ しまの情報誌の活用
 - パンフレット「Nagasaki shimaナース」9月2,500部作製
県内高等学校、看護養成機関、離島施設、会員施設、他県看護養成機関進学者、関係機関等送付
ホームページ掲載
- ② 離職時等の届け出制度の定着
 - 届出者数176名・就職者数33名
 - ・ 現任の看護管理者へ「退職される皆様へ」セットの活用・普及、施設訪問時等配布
 - ・ 研修センター、長崎県看護キャリア支援センターと連携し、受講生への説明・周知
 - ・ 「届出制度」啓発、「eナースセンター」への登録促進と情報活用によるマッチング強化
- ③ 登録の支援（求人：ガイドブック・登録マニュアル配布、求職：登録・活用法マニュアル配布）
 - 6/30ナースセンター広告デザイン
（看護職向け操作説明動画、求人施設向けナースセンター紹介動画・操作説明動画）について意見提出
⇒10/27 eナースセンターへ動画掲載
- ④ 長崎県看護キャリア支援センターとの連携
 - ・ ナースセンターおよび看護キャリア支援センターとの協働
運営委員会出席 4/24、9/25、12/15
事業等検討委員会出席 2/5
 - a 潜在看護職への継続的な就業支援
6/5復職支援研修について大村市医師会との打ち合わせ
 - b プラチナ世代（定年前・定年後継続雇用）看護職の勤務継続支援
プラチナナース研修会・交流会 7/14、10/20、1/19
 - c 離職者・未就業看護職の潜在化防止と就業意欲を高めるための研修会・交流会の開催
 - d 潜在看護職、プラチナナース及び求人施設情報の共有と「事業所説明会」の開催によるマッチング支援
- ⑤ 看護職員離職者調査及び需要調査
 - 6/5調査票発送（1,627通）6/23日締め切り 回答率71.0% 離職率9.9%、新卒離職率10.6%
- ⑥ 「地域に必要な看護職確保推進事業」（日本看護協会委託事業）《重2-2》
 - ・ 行政・関係機関との連携会議の開催

事業内容

- ・ナースセンターにおける活用可能なデータの収集、分析等の検討
- ・地域の情報収集、課題解決に向けた「ナースセンター運営会議」の会議運営についての方策検討
- ・必要なデータの収集・分析を行い、計画的に課題解決に取り組む
- 6/15委託事業説明会・情報交換会（オンライン）
- 7/31、9/6、11/30情報交換会
- 10/30中間報告会（オンライン）
- 2/29事業報告会（オンライン）
- ・ワーキンググループ会議開催（3回）7/28、10/13、1/25
- ・施設訪問による実態把握：施設訪問31施設（高齢者介護老人保健施設10、介護老人福祉施設21）
- ・研修会・交流会：12/7 参加者11名（協会だより12月号に実施報告・アンケート結果掲載）
- ・マッチングフェア：12/21 参加者7名（うち1名就職）、参加施設7施設
- ⑦「自治体保健師の活動内容や魅力発信のためのイベント」（日本看護協会委託事業）《重2-2》
- ・イベント情報周知（長崎県内の看護師等養成所11カ所、九州圏内の看護系大学 25カ所）
- ・各自自治体のお仕事相談ブース参加自治体の募集・確保
- ・なんでも相談ブース参加保健師の募集・確保（保健師職能委員会に対応）
- ・開催日：1/27(土) 於：ながさき看護センター 4階大会議室
- 参加者：学生等21名 自治体等27名（11自治体）
- (2)「看護の心」普及及び進路指導・相談に関すること
- ①2023看護への道フェア（県協会との連携事業）8/2
- ・対象者（高等学校進路指導担当教諭、中・高校生、保護者）への周知
- ポスター370、チラシ3,000作成・配布（県内高等学校・中学校、図書館、市・町役場、教育委員会等）
- 参加申し込み締め切り7/19 医療機関、看護養成機関へ協力依頼
- 事務局会議 5回開催
- ・参加者：146名（高校生79名、中学生27名、教諭2名、保護者他35名、取材2社、行政1名）
- 協力員：56名（医療機関・職能委員等26名、看護学生4名、協会職員26名）
- 看護養成機関：8校12名
- ②出前授業事業の周知（県協会との連携事業）
- ・行政・教育委員会との連携
- ・メディアの活用 開催情報提供
- 「出前授業」7/29諫早高等学校長崎新聞掲載、諫早ケーブルメディアTV放送
- 「2023看護への道フェア」8/3長崎新聞掲載、ひまわりてれびTV放送
- ・講師の調整・依頼
- 実施10校（小学校1校、中学校7校、高等学校2校）
- ・学校訪問等による進路指導
- 6/30諫早高等学校2年生3名来館にて相談対応
- ③新人看護師の職場適応への支援《重2-2》
- ・看護関係者が一堂に会する連携・協議の場の設置
- ・1/13「実地指導者、教育担当者、看護師等学校養成所との意見交換会」
- 参加57名（臨床28名・教育機関19名・行政1名・協会関係9名）
- ・医療機関・施設等の新人看護師教育計画策定に向け情報提供
- ④看護師等学校・養成所への訪問による進路指導・相談対応・就業説明、キャリア支援
- ・看護師等学校・養成所訪問によるキャリア支援の実態把握
- 2/2 長崎大学医学部保健学科 2/13 長崎県立大学
- 2/13 長崎県立五島高等学校衛生看護科 2/15 長崎玉成高等学校
- 2/20 島原市医師会看護学校 2/21 長崎市医師会看護専門学校
- 2/22 向陽高等学校 2/26 長崎県立看護学校
- 3/1 佐世保市医師会看護専門学校 3/4 佐世保市立看護専門学校
- 3/14 活水女子大学 3/21 九州文化学園高等学校
- ・長崎県内の看護師不足について講演
- 1/29長崎大学医学部保健学科看護専攻学1年生および離島推薦枠学生対象（オンライン）
- (3)事業運営の充実に向けた活動
- ①長崎県ナースセンター事業運営委員会（長崎県主催）11/2
- ②ナースセンター運営委員会の開催（2回/年）第1回12/1、第2回3/11
- ③相談員業務連絡会の開催 6回

事業内容

- ④関係機関との会議等への出席
- ・中央ナースセンターとの連携：6/2事業担当者会議（オンライン）
 「~~マイナンバー~~制度を活用した看護職の活用システム」(令和6年度運用開始予定)
 ⇒※「デジタル改革関連法に基づく看護職の人材活用システム」(名称変更)
 「看護資格の活用基盤強化および看護補助者の確保・定着に関する説明会」
 (オンライン) 3/6
 「第7次NCCSの機能に関する説明会」(オンライン) 3/15
 - ・福祉分野との連携：長崎県人材確保対策推進協議会7/25
 介護サービス事業団集団指導（県庁にてオンライン）8/29、8/30、8/81、9/1
 福祉人材センター運営委員会（オンライン）2/28
 - ・労働局との連携：ナースセンター・ハローワーク連携調整会議 11/2
 長崎県人材確保対策推進協議会 7/25
 ハロートレーニングフェス 2/25
- ⑤相談員の質の向上
- ・5/24 看護労働担当者会議（オンライン）
 - ・7/26「看護職の生涯学習ガイドライン」説明会（オンライン）
 - ・8/9 職業紹介責任者講習会（オンライン）
 - ・9/12「看護職員の賃金制度の見直しに関する取り組み事例報告会」(オンライン)
 - ・9/13 ナースセンター就業相談員研修（オンライン）
 - ・9/26、10/24、11/17 労働契約等解説セミナー2023（オンライン）
 - ・11/29、12/13、12/20、12/21 キャリアコンサルティング研修（オンライン）
 - ・12/22、12/25 マイナビ「メディカル領域における育成力向上セミナー」(オンライン)
 - ・1/13 実地指導者、教育担当者、看護師等学校養成所との意見交換会 参加者55名
 - ・2/8 施設会員代表者・看護管理者等交流会 参加者36名
 - ・3/27 職業紹介責任者講習会（オンライン）
- ⑥准看護師の進学相談及び進学支援

3. 看護にかかる調査及び研究並びに看護業務及び看護制度の改善への提言等に関する事業（公益目的事業）

事業内容

3-1) 看護師業務の改善に関する事業

- (1)看護師職能委員会開催 1回/月（12回）
- (2)看護師の質向上に関する事業
- ①研修会・交流会の開催
- a 看護師職能Ⅰ小委員会（病院領域）研修会
 テーマ：「身体拘束削減を目指して スタッフの意識改革への取り組みと実際」
 日時：10/14(土)13:00～15:30
 講師：長崎大学病院 副看護部長 山口 典子
 長崎大学病院 看護師長 三浦 哲
 参加者：43名（会員28名、非会員15名）職種（看護職35名、介護職7名、理学療法士1名）
- b 看護師職能Ⅰ（病院領域）・Ⅱ（施設・在宅領域）小委員会合同交流会 **《重2-1》**
 テーマ：「ポストコロナ時代のコミュニケーションとセルフケア」
 日時：7/29(土)13:00～15:30
 講師：医療法人伴帥会 愛野記念病院 医師 原 信太郎
 参加者：13名（会員11名、非会員2名）
- c 看護師職能Ⅰ（病院領域）・Ⅱ（施設・在宅領域）小委員会合同研修会 **《重2-2》**
 テーマ：「指導の変換期！ 新人教育の心得」
 日時：8/5(土)13:00～15:30
 講師：長崎大学大学院医歯薬学総合研究科（保健学科）准教授 吉田 浩二
 参加者：48名（会員45名、非会員3名）
- ②実態調査の報告
- a 看護師職能Ⅱ小委員会（施設・在宅領域）**《重2-3》**
 テーマ：「介護・福祉関係施設における看護職による介護職員への教育のあり方」
 倫理委員会：8/23 調査：9月
 回収率：38.5%（104施設/270施設）詳細は令和6年度長崎県看護協会通常総会資料に掲載

事業内容

(3)病院と在宅看護の充実に向けた事業

①看護師職能Ⅰ（病院領域）・看護師職能Ⅱ（施設・在宅領域）小委員会合同交流・研修会（再掲）

(4)三職能合同交流会

テーマ：「全世代型地域包括ケアシステム」における看護職の役割

日時：6/17(土)13:30（総会后）～16:15

内容：基調講演、ワークショップ

講師：公立大学法人 宮城大学 准教授 村中 峯子

参加者：123名（保健師・助産師・看護師・准看護師）

協力委員：9名

(5)看護の専門性を発揮するタスク・シフト/シェアの周知拡大《重3-1》

①職能委員会による課題把握 9/29、11/24 委員会において意見交換
多職種団体等の研修への協力

(6)「2023看護への道フェア」に協力・参加 8/2 2名参加 看護師の働く姿のパネル作成

(7)日本看護協会看護師職能Ⅰ・Ⅱとの連携、ネットワーク構築

①全国職能別交流集会への参加 6/8 幕張メッセ

②全国職能委員長会議への参加・意見集約 7/29 ベルサール御成門 3/1 TKP市ヶ谷カンファレンスセンター

③地区別職能委員長会への参加・意見集約 10/20 沖縄県那覇市

(8)会員拡大の推進

①交流会・研修会の際の非会員への説明

②長崎県老人保健施設協会・長崎県老人福祉施設協議会への研修案内

3-2) 保健師業務の改善に関する事業

(1)保健師職能委員会開催 1回/月 14回開催

交流会等企画、実施、評価

・三職能合同交流会企画・準備・実施、保健師ネットワーク会議企画、職場の健康づくり応援事業検討（WG）、令和4年度保健師基盤調査分析（WG）、保健師職能交流集会企画

(2)保健師ネットワーク会議の開催

目的：企業や行政（市町・県）など様々な領域で働く保健師の任意団体や大学等のネットワーク強化やキャリア形成支援

テーマ：「コロナ禍を経たレベルⅠ（新任期保健師）の人材育成について」

日時：8/19(土)

参加者：保健師教育機関、健保連保健師看護師等連絡協議会、地域包括・在宅介護支援センター協議会、全国保健師長会長崎県支部、市町村保健師会、県保健師会等

結果：参加団体でメーリングリストを作成し、研修情報等を共有するなど人材育成について協力する

(3)保健師職能交流会の開催

テーマ：「長崎県保健師の現状を知り、今後保健活動に必要なことを考える
～2022保健師活動の活動基盤に関する基礎調査より～」

日時：2/17(土)

内容：情報提供、グループワーク、意見交換

参加者：30名（保健師）

(4)各領域で働く新任期保健師交流・研修会の開催

日時：2/17(土)

※保健師職能交流会にて実施

(5)三職能合同交流会

テーマ：「全世代型地域包括ケアシステム」における看護職の役割

日時：6/17(土)13:30（総会后）～16:15

内容：基調講演、ワークショップ

講師：公立大学法人 宮城大学 准教授 村中 峯子

参加者：123名（保健師・助産師・看護師・准看護師）

事業内容

- (6)8/2「2023看護への道フェア」に協力・参加 2名
- (7)日本看護協会委託事業「自治体保健師の活動内容や魅力発信のためのイベント」への協力 3名
なんでも相談ブース従事
- (8)長崎県職場の健康づくり応援事業への協力
要望のあった事業所・施設等への講師派遣：16件実施
- (9)会員拡大の推進
保健師業務紹介パネルや入会案内チラシを活用し、各種交流会、会議等で呼びかけ
保健師職能委員会だよりの作成及び配布 ⇒『なでしこだより ～KAURA～』の作成、関係団体へ9月発送、
10月協会だよりへ掲載
- (10)日本看護協会保健師職能委員会との連携、ネットワーク構築
①全国職能別交流集会への参加・意見集約
②ブロック別職能委員長会への参加・意見集約

3-3) 助産師業務の改善に関する事業

- (1)助産師職能委員会開催 1回/月 (12回)
- (2)助産師の質向上に関する事業
- ①交流会・研修会の開催
- a. 周産期医療に携わる医療スタッフのメンタルヘルス
「医療スタッフのための心の健康とリラクゼーション」
日時：10/28(土)13：30～15：30
対象：助産師・看護師・保健師・准看護師
講師：吉田心理教育相談室 公認心理師/臨床心理士 吉田直樹
参加者：5名+委員7名
- b. 出生前診断・遺伝に関する研修会
「出生前検査～妊婦の支援について考える～」
日時：11/25(土)13：30～16：00 対象：看護職
講師：長崎大学生命医科学域 保健学系リプロダクティブヘルス分野 准教授 佐々木規子
参加者：15名(会員14名、非会員1名)+委員7名
- (3)母子保健の向上に関する事業
- ①性に対する知識の普及
性教育セミナー開催
20校(開催回数23回)、参加人数 延2,061名
- ②第27回「国際助産師の日」記念イベント
目的：助産師活動の市民への啓発、「国際助産師の日」PR
日時：7/2(日)13：30～16：00
対象：地域住民
場所：みらい長崎ココウォークイベント会場
内容：あらゆる女性を対象とした保健指導・相談、授乳・離乳相談、助産師職能のアピール
(胎児人形、性教育教材紹介を用いた体験)、児の体重測定
- (4)三職能合同交流会
テーマ：「全世代型地域包括ケアシステム」における看護職の役割
日時：6/17(土)13：30(総会后)～16：15
内容：基調講演、ワークショップ
講師：公立大学法人 宮城大学 准教授 村中 峯子
参加者：123名(保健師・助産師・看護師・准看護師)
- (5)看護の専門性を発揮するタスク・シフト/シェアの推進《重3-1》
- ①職能委員会による課題抽出

事業内容

- (6)日本看護協会助産師職能委員会との連携、ネットワーク構築
 - 6/7 日本看護協会通常総会（千葉）
 - 6/8 全国助産師交流集会（千葉）
 - 7/28 第1回全国助産師職能委員長会（東京）
 - 8/8 長崎県持続可能な周産期医療体制確保ワーキンググループ（長崎）
 - 9/20 第1回小児・周産期・産科医療確保対策部会（長崎）
 - 10/20 地区別助産師職能委員長会（沖縄）
 - 11/29 第2回小児・周産期・産科医療確保対策部会（長崎）
 - 12/26 長崎県妊産婦等相談支援ネットワーク推進協議会（長崎）
 - 3/1 第2回全国助産師職能委員長会（東京）
- (7)8/2「2023看護への道フェア」に協力・参加

3-4) 会員間の情報交換及び最新情報の提供

(1)特定行為研修修了者に関する現状把握《重3-2》

①特定行為研修制度の周知・普及に関する調査実施

- R5.3実施：・アンケート送付1,647通中回答数439通（回答率26.7%）
・集計結果を1月送付（1,647通）

②調査結果の分析

③特定行為研修推進に関する調査実施

- R5.10実施：・県内病院148施設の看護管理者とその施設に在籍している研修修了者に対して送付
・回答率37.8%・集計結果を県内病院に1月送付

(2)特定行為研修修了者の活躍支援

①特定行為研修修了者の活動状況の情報発信：

- ・実践集作成
- ・12/28：実践集投稿用フォームを特定行為研修修了者在籍27施設の看護管理者・72名の研修修了者へ送付し依頼
- ・看護管理者8名、特定行為研修修了者29名より投稿あり、390部作成
- ・県内医師会、病院、訪問看護ステーション、執筆者及び所属施設へ3/29発送

②講演会・シンポジウム実施（講演会・シンポジウム合同開催）：3/9開催（42名参加）

③特定行為推進委員会開催：第1回10/10（参加者：5名）

- 特定行為運営委員会開催：第1回2/20（参加者：10名）

(3)最新の情報の提供

①施設代表者会の開催（2回/年）

- ・第1回施設会員代表者・看護管理者等交流会：8/8(火) 災害支援ナースについての説明会（参加10施設21名）
- ・第2回施設会員代表者・看護管理者等交流会：2/8(木) 基調講演：「就業継続が可能な働き方の提案」
講師 公益社団法人日本看護協会 常任理事 森内みね子 グループワーク（参加28施設38名）

②支部との連携

3-5) 医療・看護・介護の安全の普及に関する事業

(1)安全管理委員会の開催 1回/月（10回）

①委員間の情報交換、中小規模医療機関、介護施設、訪問看護事業所等への医療安全に関する聞き取り

②耳より情報の発信 1回/3か月

- ・Vol.27（5月協会だより）、Vol.28（8月協会だより）Vol.29（11月協会だより）Vol.30（2月協会だより）

③交流会の企画・開催

- ・12/2「医療・介護施設の安全を考える交流会（第7回）」開催 参加者24名（会員8名、非会員16名）

④協会活動への協力（医療安全管理者研修等への運営協力、各事業所へのアドバイス）

(2)事故発生時の相談支援

①医療事故調査制度に基づき、長崎県医療事故調査等支援団体等連絡協議会との連携

- 9/16「長崎県医療事故調査等支援団体連絡協議会」と「長崎県医師会院内事故調査支援委員会」との合同会議（オンライン）

(3)医療・看護安全に関する地域支援

①リスクマネージャー交流会の各支部での開催

- 今年度開催なし

(4)日本看護協会及び他県看護協会との連携・協力

①日本看護協会医療安全推進会議出席

(5)指定地方公共機関としての体制整備・有事の対応

4. 地域ケアサービスの実施及び促進等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業（公益目的事業）

事業内容

4-1) 在宅支援事業の推進

(1)訪問看護分野における次世代人材の確保《重1-1》

- ①県内訪問看護ステーションにおける、中・高校生のふれあい看護体験・インターンシップ等の受け入れ推進
・県内看護師等養成施設への広報活動

(2)本協会在宅支援事業部の充実に向けた活動・県内在宅支援事業の実践モデル的役割の発揮

①健全な運営経営

在宅支援事業部運営委員会（2回/年）11/1、2/27

在宅支援事業部所長会議（毎月）12回

在宅支援事業部職員研修（1回以上/年）：8/30「荒天時の運転」「駐車場内での事故防止」について（損保ジャパン）

長崎県看護協会職員研修：9/27コンプライアンス研修

在宅支援事業部内委員会

- ・感染対策委員会 3回/年：7/19・2/21・研修会1回/年7～8月各事業所にて「手洗い・ガウンテクニック」実施
- ・ハラスメント対策委員会 2回/年：6/28、11/22 研修会1回/年 各事業所にてDVD研修実施
- ・高齢者虐待予防委員会 2回/年：7/19、1/17 研修会1回/年12/20
- ・災害・BCP対策委員会 3回/年：5/17、12/6、3/6 研修会1回/年9月各事業所机上訓練
- ・教育委員会 3回/年：6/21、9/20、12/27
- ・安全管理委員会 3回/年：4/19、8/23、12/20

a 訪問看護ステーション

〈医療依存度の高い方や終末期・重度の障がい者・医療的ケア児・精神障がい者へ質の高い訪問看護の提供〉

- ・訪問看護ステーション所長会議：6回
- ・ICTの活用
- ・保険外のサービス（オプション）の提供：7件
- ・グループホーム（以下GH）、通所介護機関など施設との医療連携を進める
福江：2ユニット（R6.2～4ユニット）、いさはや：4ユニット
- ・近隣の事業所との研修会開催：5/17 STいさはや：福祉用具勉強会
7/12 STいさはや：カフェイボンブ勉強会
2/7 STいさはや：下剤について
- ・地域住民等への情報提供・相談支援
- ・関係施設の多様なニーズに対応できるよう体制強化人材の育成
- ・複数訪問看護ステーションとケア提供 利用者17名：14事業所
- ・小児・難病・精神の利用者の受け入れを積極的に行う
- ・施設での看取りの支援：ST福江GH看取り2件STいさはやGH看取り2件
- ・介護職との連携強化
- ・関係団体との連携・研修・講義・実習への協力
- ・各事業所：訪問回数の目標値設定（YOU：機能強化型1維持、いさはや：機能強化型2申請目指したが、条件を満たすことができなかった。）

b 居宅支援事業所（特定加算事業所）

〈医療機関、行政、地域包括支援センター、介護保険事業所等と必要時迅速に連携する〉

- ・ICTの活用
- ・各事業所 利用者数の目標値設定（諫早：特定事業所医療・介護連携加算を維持
長崎：特定事業所医療・介護連携加算の算定目指したが、要件を満たすことができなかった。）

c 訪問介護事業所（特定加算事業所）

〈医療機関、地域包括支援センター、介護保険事業所・障害総合支援事業所との連携を密にする〉

- ・ヘルパー事業所合同会議（所長・主任・サ責）：7/24、2/28 所長・主任会議：5/24、11/28
- ・保険外のサービス（オプション）の提供：利用者延べ115人（受診待機・家事支援・保険外サービス）
- ・各事業所 訪問回数の目標値設定

d 東部地域包括支援センター（諫早市からの委託事業）

- ・総合相談 1,069件
- ・権利擁護事業 185件
- ・継続的・包括的ケアマネジメントの支援業務
- ・地域ケア会議（個別会議、圏域会議）の実施と活用 2回
- ・介護予防啓発事業の強化
- ・生活支援体制整備事業（生活支援コーディネーター等）
- ・東部包括内の総合・予防ケアマネジメント利用者の目標値設定

事業内容

e 訪問看護サポートセンター

- i 県内訪問看護事業所の相談窓口、県民に対する相談窓口の設置
 ・長崎県訪問看護サポートセンター事業（長崎県委託事業）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総件数	平均
112	130	125	90	97	99	89	61	56	82	73	64	1,078	89.8

相談件数の内コロナ関連：41件・県外：45件

- ・令和4年度新規事業所への出張相談：1件（5/19）
 - ・地域住民への訪問看護の周知・啓発
 - ・訪問看護師の確保・定着及び資質向上に向けた取組
 - ・関連行事を活用した周知活動
- ii 県内訪問看護ステーション事業の推進・人材育成
- ・研修事業：入門研修 1回 7/22 53名（内訪問看護eランニング受講者27名）
 - スキルアップ研修 6回
 - 7/1 「フィジカルアセスメント」集合 20名
 - 8/1 「フィジカルアセスメント」集合 15名
 - 9/7 「明日から使える褥瘡ケア」オンライン 18：00～19：30 74名
 - 9/30 「知って得する認知症ケア」集合 36名
 - 11/11 「多職種連携シンポジウム『食べる』」オンライン 20名
 - 1/20 「外来化学療法の現状と在宅看護」オンライン 42名
 - 管理者研修 5回
 - 5/27 「まだ間に合うBCP策定のステップ」オンライン 47名
 - 6/10 「訪問看護事業所の適正な運営について」ハイブリット（離島オンライン）37名
 - 10/21AM 「訪問看護事業所の経営のコツ」オンライン 43名
 - 10/21PM 「訪問看護事業所人材育成のポイント」オンライン 43名
 - 12/2 「高齢者虐待防止と訪問看護師の役割」オンライン 60名
 - ・訪問看護ステーションの管理者への支援
 - ・「新卒・新人訪問看護師育成プログラム」広報・周知、使用状況等の確認
 - ・訪問看護のPR：1/14「看護職員合同就職セミナー」長崎県庁
 - ・ホームページの更新（県内訪問看護ステーションの情報・Q&A）
- iii 事業推進
- ・訪問看護サポートセンター事業企画運営委員会 2回/年：6/26・1/22
 - ・訪問看護の普及啓発

②人材育成

- a 認定看護管理者教育課程・新人教育担当者研修・訪問看護管理者研修・スキルアップ研修会・特定行為研修等受講
 ・訪問看護師養成講習会e-ラーニング：3名・精神科訪問看護研修：2名
 ・実習指導者講習会特定分野等受講：2名
- b 訪問看護師キャリアラダーの活用
- c 新人看護職者入職時：「新卒・新人訪問看護師育成プログラム」の活用 **《重1-1》**
- d 事業毎の事例検討等の勉強会開催：訪問看護4回/年：6/14、9/13、12/13、3/13
 居宅介護支援2回/年：7/5、2/14
 訪問介護1回/年：10/27

③人材確保

- a 各事業所でのヘルシーワークプレイスの継続・評価・実践
- b ナースセンター、ハローワークとの連携
- c 高校生ふれあい看護体験受入れ：各支部との連携 県央支部8/1：2名（ステーションいさはや）
- d 訪問看護ステーションにおけるインターンシップ受入れ：7名①YOU：1名（2日/1名）②福江：1名（1日/1名）
 ③いさはや：5名（3日/2名・2日/2名・1日/1名）
- e 新卒看護職者受け入れ体制整備
- f 新卒入職者の確保に向けてPR：7/15 長崎県立大学県内就職説明会
 1/14 「看護職員合同就職セミナー」長崎県庁

④地域住民への在宅療養に関する周知・啓発

- a ホームページの見直し・活用：事業所紹介・修正
- b 「まちの保健室」への協力
- c 地域住民に向けた出張相談・健康増進の情報提供
 8/3 2023看護への道フェア協力（訪問看護ブース、高齢者疑似体験コーナー）

事業内容

- (3)関連団体との連携・協力
- ①訪問看護ステーション連絡協議会
 - ②日本看護協会及び日本訪問看護振興財団関係団体、行政等：
 - 訪問看護サポートセンター：日本看護協会からの依頼（厚生労働省）「訪問看護事業所へのパルスオキシメーター配布」
 - 県内すべての165事業所に周知し、確認後希望する116事業所へ配布
- (4)県民の健康増進に向けた看護職連携構築の推進《重1-2》
- ①「医療的ケア児」の在宅移行支援（県委託事業）
 - a. 病院・周産期医療センター看護職支援（在宅に向けた支援・連携に関する研修会・交流会）
 - ・12/23「保育所や学校にける医療的ケア児の成長と家族の支援～看護職と共に～」交流会
(参加者：会場44名、Web30名 計74名)
 - b. 小児訪問看護の推進（訪問看護師の研修、希望するステーションの取り組み支援）
 - ・9/30「小児訪問看護 基礎研修」(42名参加)
 - ・8月～12月：見学実習「小児訪問看護 同行訪問」(実施7件)
 - c. 学校・保育所等における医療的ケア児に関わる看護師の研修
 - ・シミュレータを使用した研修「学校や保育所等における医療的ケア児の緊急時の対応」
 - 8/18 会場：長崎県看護キャリア支援センター（25名参加）
 - 8/25 会場：長崎大学病院シミュレーションセンター（25名参加）
 - ・10/20 「NICU等における在宅移行支援の実際」オンライン研修（31名参加）
 - ・11/30 「医療的ケア児の姿勢管理や呼吸ケア」(39名参加)
 - ②地域の特性を重視した支部活動の推進に向けた支援
 - a. 支部長会議の開催（5回/年）(5/20、7/15、9/16、1/20、3/16)
 - ③各支部における看護職連携構築ネットワーク推進会議の継続支援《重1-2》
 - a. 県南・県央・県北の3支部で継続開催 *詳細は支部事業報告参照
 県南支部9/30（参加者17名）1/27（中止） 県央支部2/3（参加者34名） 県北支部2/3（参加者34名）
 - b. 支部長会議での情報共有・協議

4-2) 在宅・福祉施設看護職員の連携推進

- (1)交流会等の開催
- ①看護師職能委員会活動 [再掲]
 - ②安全管理委員会における研修会・交流会[再掲]
- (2)継続教育支援
- ①研修センター及び看護キャリア支援センター事業による研修会
 - ・長崎県看護職員認知症対応力向上研修会（再掲）
 - ・介護施設等の看護実務者研修（再掲）
 - ・福祉施設等に働く看護職の研修（再掲）

5. 人々の健康生活に必要な知識及び技術並びに看護の心の普及啓発に関する事業（公益目的事業）

事業内容

5. 健康相談、健康講座の開催

- (1)各支部による「まちの保健室」の実施
各支部事業報告参照
- (2)住民対象の講座等の開催
- ①出前講座等
 - a 専門・認定看護師等の活用
 - b 看護の出前授業（再掲）
 - c 助産師の出前講座（再掲）
 - ②地域住民への公開講座
 - a 地域イベント等への参加
 - ③地域住民の自主活動支援、ボランティア活動支援：実施なし
- (3)相談事業等の推進
- ①各支部開催の常設型・巡回型「まちの保健室」(再掲)
- (4)会員・非会員看護職に向けた広報活動の推進
- ①広報出版委員会開催 2回/月（21回）

事業内容

- a 会報誌の発行 3回/年
 - ・会報89号（4月） 会報90号（8月） 会報91号（1月）
 - b 会報作成のための取材活動
 - ②協会だより・ホームページの充実
 - ・協会だより月1回発行、ホームページの更新・随時
 - ③日本看護協会発刊看護情報関連冊子等の活用
 - ④マスコミ等の活用
- (5)一般住民向け広報活動の推進
- ①ホームページ「県民の皆様」への活用：協会案内パンフレット、看護の心普及ポスター等の活用
 - ②活動広報パンフレット等の配布
 - ③地域広報誌、マスコミ等の積極的活用
- (6)「看護の日・看護週間」行事による「看護の心」の普及促進
- ①看護の日記念事業の開催
 - ・日本看護協会の「看護の日」ポスターの配布
 - ・小・中・高校へ看護の出前事業案内に同封、会員施設へ送付（4月協会だより）
 - ②支部における看護の日記念行事等の実施
 - ・5/13(土)県下一斉開催（一部他日程あり）支部報告参照
- (7)「看護の心」普及事業（次世代育成）
- ①中学生・高校生の一日看護体験広報・周知の拡大
 - ②進路指導・相談（再掲）
 - a 看護師等学校・養成所への訪問・就業説明
 - b 看護職合同就職説明会への参加（再掲）
 - ・5/13(土)「県央支部」看護の日 ナースセンター相談ブース設置：進路相談者4名
 - ・5/20(土)「県南支部」看護の日 ナースセンター相談ブース設置：進路相談者3名
 - ③看護の出前授業（対象：小学・中学・高校）（再掲）
 - ・4/10 265ヶ所へ案内発送
 - ④2023看護への道フェア（再掲）
- (8)長崎県ねんりんピックへの協力・支部との連携
- (9)「長崎県職場の健康づくり応援事業」への協力（再掲）

6. 日本看護協会との相互協力及び連携に関する事業（公益目的事業）

事業内容

6-1) 災害時の看護支援活動に関する事業

- (1)災害看護委員会開催 1回/月 12回開催
 - ①災害支援ナースの啓発活動の強化
 - ・災害支援ナース登録者85名
 - ・災害支援ナース交流会 「新たな災害支援ナース始まる～これまでの活動とこれから求められること～」
9/2(土)13:00～16:30 参加者17名
 - ・災害支援ナース養成研修・演習担当（災害編） 1回目1/23、2回目2/6
 - ・8/2「2023看護への道フェア」に協力・参加
- (2)日本看護協会及び行政、他機関等との連携、協力
 - ・令和6年度能登半島地震への災害支援活動について日本看護協会より情報収集。本協会災害支援ナースへ情報発信
 - ①災害支援ナース派遣調整合同訓練
 - ・1/31～2/1予定だったが、開催見合わせ
 - ②長崎県総合防災訓練等への参加
12/18 第1回担当者会議 2/21 第2回担当者会議
- (3)災害支援体制の整備
 - ①災害支援体制及びマニュアル等の整備
 - ②協会内の机上シミュレーションの実施
 - ③訓練実施後の体制及びマニュアル等の評価、見直し
 - ④災害物資の備蓄
 - ⑤災害用備品・物資の点検補充（10月実施）
- (4)非常時における健康危機管理体制の強化 《重4-2》

事業内容

- ①自然災害における会員施設との情報共有
 - ・会員施設との連絡調整
 - ・県災害対策本部との連携
- ②法改正に伴う、現行の登録者移行への支援
 - ・災害支援ナース登録者、看護管理者への周知
 - 8/8 説明（施設会員代表者・看護管理者等交流会にて）参加者24名（12施設）
 - 9/2 災害支援ナース交流会にて説明 参加者17名
 - ・看護管理者への協力依頼
 - ・新たに災害支援ナースに追加され必要となる研修受講に向けての支援
 - 10月「新型コロナなど新興感染症等に係る看護職員等確保事業災害支援ナース養成研修」受託
 - 新型コロナなど新興感染症等に係る看護職員等確保事業災害支援ナース養成研修開催
 - 1回目：1/23、1/24 参加者30名 2回目：2/6、2/7 参加者26名
- ③新興感染症に対応する看護職の負担軽減《重4-1》
 - ・病院・施設における医療・介護提供体制の情報収集
 - ・行政・他団体との連携強化
 - ・介護施設等の体制整備の支援
 - ・医療逼迫時の求人対応

6-2) 日本看護協会との連携に関する事業

(1)会議・委員会等への参加

- ①令和5年度代議員研修会
 - ・5/20 出席者20名（代議員10名 予備代議員6名 他4名）
- ②日本看護協会総会6/7・8 千葉幕張メッセ 代議員9名、表彰者1名参加
 - ・全国職能交流集会（6/8）
- ③理事会（6回/年）
 - ・5/17、オブザーバー出席：6/7、7/20・21、9/22、11/21・22、2/22
- ④法人会員会
 - ・5/17、オブザーバー出席：7/21、9/22、11/22、2/22
- ⑤全国職能委員長会（7/28）
- ⑥九州地区別法人会員会・職能委員長会（10/19、20 沖縄県）
- ⑦各種担当者会議
 - ・都道府県看護協会政策責任者会議（9/21）
 - ・都道府県看護協会看護労働担当者会議（5/24）
 - ・都道府県看護協会会員情報管理情報交換会（7/5）
 - ・都道府県看護協会・都道府県訪問看護連絡協議会合同会議（11/17）
 - ・都道府県看護協会広報担当役員会議（11/6）
 - ・都道府県看護協会健康危機管理担当者会議（12/14）
 - ・全国看護基礎教育担当役員会議（12/20）
 - ・日本看護サミット2023（2/14）

(2)日本看護協会令和5年度重点政策・重点事業推進に向けての長崎県協会事業内容

/日本看護協会重点課題・基盤強化事業・SDGs実現に向けた取組み

1. 重点政策・重点事業・SDGs目標

- ①全世代の健康を支える看護機能の強化
 - 《1.看護提供体制の構築 2.地域における健康・療養支援体制の強化に向けた取組み 3.地域における看護職の確保と活躍推進》
 - ・訪問看護分野における次世代人材確保
 - ・訪問看護師（新卒・新人）の教育体制の整備
 - ・訪問看護ステーションの管理者への支援
 - ・医療的ケア児の在宅移行推進
 - ・各支部における看護職連携地域ネットワーク会議の定着
- ②専門職としてのキャリア継続の支援
 - 《1.看護職の働き方改革の推進 2.看護職のキャリア構築支援 3.看護師の生涯学習支援体制の構築》
 - ・就業継続が可能な働き方の5要因10項目の周知・普及
 - ・ヘルシーワークプレイス（健康で安全な職場）の普及
 - ・ICT活用による看護業務の効率化の推進
 - ・地域における看護職確保

事業内容

- ・新人看護師の職場適応への支援
- ・看護学生のキャリア構築支援
- ・あらゆる場で働く看護職に求められる研修の実施とキャリア支援
- ・中小規模施設等に勤務する看護職の継続教育及びクリニカルラダー活用推進への支援
- ③地域における健康と療養を支える看護職の裁量発揮
 - 《1. 看護の専門性の発揮に資するタスク・シフト/シェアに関する事業 2. 特定行為に係る看護師の研修制度の活用推進・資格認定3制度の養成戦略の検討》
 - ・タスク・シフト/シェアの推進
 - ・特定行為研修修了者に関する現状把握
 - ・特定行為研修修了者の活躍支援
- ④地域の健康危機管理体制の構築
 - 《1. 新興感染症への対応 2. 感染症のパンデミック及び災害時の看護支援活動に関する事業 3. 本会のBCP（事業継続計画）の策定》
 - ・新興感染症における会員施設との情報共有
 - ・新興感染症に対応する看護職の負担軽減
 - ・自然災害における会員施設との情報共有
 - ・災害支援ナース登録の推進
- 2. 重点課題
 - ①准看護師養成の停止
 - ②看護師基礎教育の4年制化
 - ③ナース・プラクティショナー（仮称）制度構築
- 3. 基盤強化事業
 - ①看護政策推進のためのエビデンスの集積・活用体制の構築
 - ②政策推進力の強化
 - ③日本看護協会における教育研修体制の強化
- 4. SDGs実現に向けた取組み

「日本看護協会SDGs宣言」を行い、令和4年度以降、SDGsの実現目標年度である2030年までの間、日本看護協会の重点政策をSDGsの3つの目標と関連付けて取り組む

7. 施設の貸与事業（公益目的事業／収益に関する事業）

事業内容

7. 貸事務所・貸室に関する事業

- (1)ながさき看護センターの貸室運営
 - ①建物賃貸（関連団体等）・長崎県看護連盟
 - ②会議室、研修室等の貸出・県関連、関連団体等への貸出
 - ・貸出状況 県関係15件、県以外団体56件、看護キャリア支援センター55件、看護連盟14件
 - ※貸出件数140件のうち公益目的貸出92件
 - ※近隣団体への駐車場貸出（無料）11件
- (2)長崎会館の貸室運営
 - ①建物賃貸（関連団体等）・長崎県看護連盟
 - ②会議室、研修室等の貸出・関連団体等への貸出
 - ・貸出状況 県関係0件、県以外団体0件、看護キャリア支援センター4件、看護連盟24件
 - ※貸出件数28件のうち公益目的貸出4件

8. 公の施設の管理・運営事業（公益目的事業）

事業内容

8. 長崎県看護キャリア支援センターに関する事業

- (1)復職・就業支援、福祉施設支援
 - ①未就業看護職員のための復職支援研修
 - ・復職支援研修：9回/年 各4日間（諫早市・佐世保市）
 - 第1回 4/5～26（9名） 第2回 5/10～31（12名） 第3回 6/7～28（7名）

事業内容

- 第4回 7/5～26 (6名) 第5回 9/6～27 (10名) 第6回 10/4～25 (13名)
第7回 12/6～27 (6名) 第8回 1/10～31 (6名) 第9回 2/7～3/6 (2名)
- ・医療施設における体験研修
医療施設 (1名) 訪問看護 (1名)
- ②プラチナナース研修：3回/年 (諫早市・佐世保市)
第1回 7/14 (15名) 第2回 10/20 (2名) 第3回 1/19 (9名)
- ③福祉施設への出張研修：20施設/年
申込数 8件：県南地区1 県央地区4 県北地区3
実施終了数 8件 (228名)
- ④福祉施設・医療施設等に働く看護職員研修・交流会：3回/年 (諫早市・佐世保市)
第1回 7/29 (7名) 第2回 10/28 (8名) 第3回 12/16 (15名)
- (2)院内教育体制の整備・充実支援
- ①新人看護職員研修・交流会：7日間/地区
5/9～1/26 (61名) 県南地区23名 県央地区25名 県北地区13名
- ②新人看護職員研修「研修責任者・教育担当者・実地指導者研修」：5日間 (諫早市・佐世保市)
8/28～9/22 (75名) (研修責任者：10名 教育担当者：36名 実地指導者：29名)
- ③長崎県保健師助産師看護師実習指導者講習会 (eラーニング・諫早市・佐世保市)
eラーニング：6/1～9/30 (37名) 集合研修：11/9～12/12 23日間 (35名)
- ④特定分野における保健師助産師看護師実習指導者講習会：1回/2年 7日間 (諫早市・佐世保市)
9/2～10/7 (12名)
- ⑤離島就業看護職員研修
・離島就業看護職員研修：1回/年 4島
上五島地区10/21 (21名) 下五島地区10/28 (8名) 壱岐地区10/7 (19名) 対馬地区11/18 (32名)
・配信研修 7/29 (15名) 10/28 (2名) 12/16 (5名)
- ⑥看護スキルアップ研修：9回/年 (諫早市・佐世保市)
第1回 7/15 (21名) 第2回 8/12 (22名) 第3回 8/19 (34名) 第4回 9/9 (26名)
第5回 9/16 (25名) 第6回 10/14 (18名) 第7回 10/20 (57名) 第8回 11/11 (27名)
第9回 12/9 (25名)
- ⑦看護教員・施設教育担当者研修：5回/年 (諫早市・佐世保市)
第1回 7/22 (31名) 第2回 8/5 (延期→12/2) (13名) 第3回 8/27 (延期→2/10) (14名)
第4回 9/24 (30名) 第5回 10/8 (6名)
- ⑧模擬患者派遣支援
依頼数 2件：県北地区2
- (3)看護学生・就業看護職員共同研修
- ①学生と看護職員との交流会：2回/年 3地区
第1回 県南地区8/10 (中止) 県央地区8/3 (4名) 県北地区7/28 (30名)
第2回 県南地区3/22 (1名) 県央地区3/15 (1名) 県北地区3/11 (30名)
- ②実習指導者講習会修了者・関係者等の交流会：1回/年 (諫早市)
6/3 AM (26名) PM (65名)
- (4)その他
- ①eラーニング学習 偶数月：第2・第4木曜日 15：00～
4/13 (5名) 4/27 (12名) 6/8 (28名) 6/22 (28名) 8/10 (22名) 8/24 (18名)
10/12 (26名) 10/26 (29名) 12/14 (25名) 12/21 (23名) 2/8 (13名) 2/22 (16名)
- ②看護技術研修支援 貸館・シミュレータ無料貸し出し 8/26 (3名)
- ③看護研究に関する支援 4～3月 (17名)
- (5)求職相談事業
・求職、求人、届出制、その他就業に関する相談：延べ数 (4～3月)
求職者延べ数117名 求人延べ数218名 就業者数 (健診・救護含む) 81名
・ハローワーク出張相談：1回/月
・未就業者への研修案内等
・看護職員合同就職説明会 (県主催) への参加
・看護職員業務連絡会議：5回/年
- (6)貸室及び会館管理に関すること
長崎県看護連盟1件 佐世保市立看護専門学校33件 長崎県看護協会3件 長崎県看護協会県北支部5件
- (7)広報
・ホームページ運営

事業内容

- ・広報ひらど（2023年4月号）掲載
- ・広報ながさき（2023年5月号）掲載
- ・つたえる県ながさき（2023年6月号）掲載
- ・ととってmotto（2024年3月8日）掲載
- ・広報みなみしまばら（2023年4月号）掲載
- ・広報させば（2023年5月号）掲載
- ・広報さいかい（2023年6月号）掲載

(8)施設管理

(9)事業運営の充実に向けた活動

- ①運営委員会の開催 2回/年 第1回 4/24 第2回 9/25 第3回 12/15
- ②関係会議への参加
- ③職員の資質向上

9. その他本協会の目的を達するために必要な事業（収益事業等／法人管理に関する事業）

事業内容

9-1) 会員支援に関する事業

(1)会員の福利厚生の実施

- ①各受賞者等の推薦、表彰、慶弔・災害見舞等
 - ・叙勲（瑞宝単光章）内田映子
 - ・優良看護職員厚生労働大臣表彰 勝野久美子
 - ・日本看護協会名誉会員 氏田美知子
 - ・日本看護協会会長表彰 久家美智代
 - ・看護事業功労者知事表彰 岡田美佐子、河口朝子、久家美智代
 - ・長崎県看護協会名誉会員 砂川佳子、馬場邦子
 - ・長崎県看護協会会長表彰35名（令和5年度総会要綱p208参照）

弔意

- ・令和5年8月21日 故河口朝子（元長崎県立大学）[享年65]
- ・令和6年2月20日 故久家美智代（元長崎県看護協会副会長）[享年68]

②会員特典の周知

- ・令和5年度総会要綱p206に掲載、ホームページにて周知

(2)相談窓口の設置

- ①相談対応、情報提供

9-2) 渉外活動

(1)重点事業に関する渉外活動

- ①県・市町等行政への要望活動・12/19長崎県へ要望書提出
- ②行政・関係機関の審議会等への委員派遣・推薦

a 各委員会・支部等との連携

(2)関連団体等との連携

①構成団体としての活動

a 長崎県看護連盟

b 子どもを守る「ひまわりプロジェクト（女性たちのネットワーク）」及び市民団体等

- ・7/6、7/21、10/30、11/10、11/29、2/19、2/22（7回）役員会出席
- ・6/27 総会、8/1 基金審査会、11/12 健康応援事業、12/2 5周年イベント

②関係団体の会議等への参加、情報交換、委員等の派遣

a 有識者等との情報交換並びに協力

b 後援・推薦・協賛等依頼への協力等 ・後援承諾32件

9-3) 訪問型病児・病後児保育事業の推進（雲仙市補助事業）

(1)病児・病後児保育推進委員会活動

①委員会開催 1回/月（11回）

訪問実績60件（4月～3月）

(2)病児・病後児保育サポーターの研修

①サポーター連絡会 4/15開催 10名参加

②サポーター研修 1回/年

・10/30 参加者27名「子どもたちを取り巻く環境の変化と健康障害」講師 土居浩（指導医）

「イヤイヤ期のトリセツ～新しい物事の捉え方～」講師 中原圭子（薬剤師）

③全国病児保育研究大会in鹿児島 7/16、7/17参加

事業内容

(3)病児保育事業の運営・周知

- ①利用者とサポーターとの交流会 5回/年
・4/16 27名、6/18 32名、10/29 37名、12/17 31名、2/18 20名
- ②ホームページ等による広報

(4)雲仙市及び雲仙市内病児保育実施施設との情報交換

- ①3/13雲仙市病児保育協議会参加（2名）
- ②ほけんだよりの発行（3回/年発行の内、1回担当）ほけんだより秋号（10/13）発行

9-4) 法人管理に関する事業

(1)公益法人事業の推進

- ①定款、定款施行細則等の遵守ならびに諸規則の改定
 - a 定款・計画・実施との整合
- ②事業執行・運営体制の強化
 - a 県・支部事業のスムーズな連携、運営
 - b 役職員教育
- ③報告書類等の作成・管理
 - a 定期提出書類及び変更届等適正な事務報告
 - ・4/28変更届出（理事1名辞任のため登記）
 - ・6/5変更届出（代表理事変更登記）
 - ・6/30定期提出書類（事業報告等）提出
 - ・7/13変更届出（理事1名就任のため登記）
 - ・3/29定期提出書類（事業計画・予算等）提出

(2)諸会議の円滑な運営

- ①通常総会・6/17(土)会員のみでの縮小開催
出席者7,625名（一般参加268名（支部会場41名含む）役員・協力員等87名、委任状7,270名）
- ②理事会 ・4回以上/年 5/20、7/15、9/16、11/18、1/20、3/16
- ③業務執行理事会 ・1回以上/月 24回
- ④推薦委員会 ・必要時開催
- ⑤選挙管理委員会 ・必要時開催

(3)事業等の円滑な運営

- ①事務局体制整備 ・業務連絡会議1回/月 ・事業部長会1回/月
- ②事業部運営委員会 ・各事業部2回/年
- ③事業・会計監査 ・2回/年 5/16（令和4年度全期）11/14（令和5年度上半期）
- ④支部報告会 ・1回/年 支部事業報告参照
- ⑤支部事業運営に関する会議等の開催
- ⑥支部事業活動の支援
- ⑦日本看護協会との連携

(4)会員の入会促進と管理（個人情報保護法遵守）《基盤強化事業》

- ①入会促進
 - ・令和5年度会員数9,831名（令和4年度会員数9,962名）
 - a. 入会案内の検討
 - b. 支部（会員委員会等）の活動による
- ②新人看護職員等への周知と入会促進
 - a. 看護キャリア支援センターとの連携
- ③看護基礎教育機関の入学・卒業式、講演会への出席
 - ・入学式3校、卒業式9校、卒業記念講演2校
 - a. 「入会案内」冊子等の活用
- ④施設訪問、行事等の活用、支部との連携
- ⑤日本看護協会会員名簿データシステムの運用・管理
 - a. 入会の受付業務
 - b. 都道府県看護協会会員情報管理情報交換会出席（7/5）再掲
- ⑥日本看護協会との連携体制の強化
 - a. ナースシップ（会員情報管理システム）活用に向けた支援
 - b. 会員マイページ「キャリアナース」について協会だより・研修センターにて周知・登録促進
 - ・キャリアナース登録者数3,512名
- ⑦会員に関する照会への対応

事業内容

- (5)情報セキュリティ・個人情報の安全管理
- (6)職員の人事管理・労務管理の充実
 - ①職員の職務分掌と適正配置
 - ②働き方改革法に基づく労働環境の整備
 - ③永年勤続職員の表彰
 - ④職員研修会の開催・1回/年程度
 - 9/27 コンプライアンス研修（全職員受講） 講師：ふくざき法律事務所 永岡亜也子弁護士
 - ⑤福利厚生
 - ⑥衛生委員会の開催・1回/月（9回実施）、全体会1回以上/年（3/26開催）

9-5) 施設管理に関する事項

- (1)ながさき看護センター及び別館の管理
 - ①建物・機器等設備の管理、運営
 - a 警備、清掃、管理等
 - ②保守・修繕
 - a 長期修繕計画に基づき実施
 - b 防災訓練等の実施（1回/年以上）
 - ・12/11消防訓練実施
 - ③駐車場の保守・管理
- (2)長崎会館の管理
 - ①建物・機器等設備の管理、運営
 - ②保守・修繕
 - ③在宅・県南支部事務所の円滑な移転に向けた検討
 - ・「長崎会館移転検討委員会」の報告を基に具体的な協議開始
 - 7/15 第2回理事会にて「長崎会館解体に伴う移転計画について」承認
 - 9/16 第3回理事会にて進捗状況を報告
 - 11/18 第4回理事会にて移転先候補地等について進捗状況を報告
 - 12/20 長崎会館内在宅支援事業所職員への説明会
 - 12/21 県南支部運営委員会委員への説明会
 - 1/20 第5回理事会にて移転先、移転時期等について協議、承認
 - ・「長崎会館移転検討委員会」の報告を基に会員への周知
会報90号及び令和6年2月号協会だよりにて長崎会館解体に伴う移転計画について掲載

県南支部事業報告

*下線は新規事業

1. 継続教育及び看護学会等学術集会に関する事業（公益目的事業）

事業内容
1. 継続教育に関する事業
1) 継続教育の推進
(1)看護実践能力向上のための研修会の企画・開催・評価 ・2年目看護職員交流会（年1回）（11月8日開催）6施設20名参加 「看護過程の実践活用」講師：長崎大学院医歯薬学総合研究科看護実践科学分野 教授 黒田 裕美
2) 支部看護研究会に関する事業
(1)支部看護研究会の企画・開催・評価（年1回） ①開催周知、演題募集 6/1募集 ②抄録の査読、結果通知（8/24）③抄録集の作成、11/17送付 ④看護研究会の開催 12/2（オンライン開催）7演題 発表者・共同研究者：11名、12施設 121名参加
(2)看護研究支援のための交流会の企画・開催・評価 ①看護研究交流会（7/8）テーマ：看護研究のテーマを決め、研究背景・意義・目的を考えよう！ 講 師：長崎大学生命医科学域（保健学系）成人看護学 助教 大山 祐介
3) 研修事業の周知とフィードバック
(1)研修計画の作成、配布（5月） ①県協会教育計画への掲載 ②事業一覧の作成、会員施設への送付（5/12）
(2)交流会開催案内 ①ホームページによる交流会開催案内、実施報告（4/7、5/16、6/1、7/3、7/31、9/7、9/11、12/28、1/12、2/21） ②広報誌（県協会会報）による開催案内、実施報告（年3回）
(3)アンケート結果のフィードバック ①交流会アンケート結果（まとめ）の作成、会員施設への送付（5/12）
4) 事業運営の充実に向けた活動
(1)委員会の開催（月1回程度） ①教育委員会（5/10、6/24、8/2、9/6、10/4、11/8、2/7、3/6） ②看護研究委員会（5/10、6/24、8/2、9/6、10/4、11/1、12/13） ③県協会教育担当者会議への出席 ④「看護職の生涯学習ガイドライン」説明会視聴参加（10/3）

2. 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業（公益目的事業）

事業内容
1. 勤務環境改善への取り組み支援事業
1) 健康で安全な職場づくりの推進
(1)施設代表者会における周知、意見交換 ①重点目標2に基づく開催テーマに沿った各施設の情報交換 ②就業継続可能な働き方「5要因10項目」の周知・普及 看護の専門性を発揮するタスク・シフト/シェアの周知・拡大 新興感染症の対応への情報交換
2) 就業促進支援の推進
(1)ナースセンターとの連携

3. 看護にかかる調査及び研究並びに看護業務及び看護制度の改善への提言等に関する事業（公益目的事業）

事業内容
<p>1) 看護師業務の改善に関する事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 職能委員会による調査：8/1ヘルシーワークプレイスアンケート実施「福利厚生調査」 対象34施設（回答依頼数400人）へGoogleフォームによる回答依頼、202名より回答（回収率：50.5%） 2/17第2回施設代表者交流会にて報告発表 ・ 協会看護師職能委員会企画（研修会・交流会）への参加
<p>2) 保健師業務の改善に関する事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 協会保健師職能委員会企画（研修会・交流会）への参加 ・ 保健師の入会促進
<p>3) 助産師業務の改善に関する事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 協会助産師職能委員会企画（研修会・交流会）への参加
<p>4) 会員間の情報交換及び最新情報の提供</p> <p>(1)施設代表者交流会の開催（年2回）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 8/26 第1回施設代表者交流会「タスク・シフト/シェア～看護補助者との連携～」13施設22名参加 講演 講師：医療法人重工記念長崎病院 看護部長 峯 麻紀子 ・ 合同委員長会（年1回）（1/28）書面会議 ・ 2/17 第2回施設代表者交流会「新人看護師 教育の実際と職場適応への支援」10施設35名参加 講師：長崎市医師会看護専門学校 第1看護科 科長補佐 渡辺 美樹子 講師：長崎みなとメディカルセンター 看護副部長兼教育研修センター副センター長 池田 知嘉子
<p>5) 医療・看護・介護の安全の普及に関する事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ リスクマネージャー交流会（年1回）11/11開催 テーマ「医療チームにおける心理的安全性」8施設13名参加 講師：長崎大学生命医科学域（保健学系）教授 大西 真由美
<p>6) 事業運営の充実に向けた活動</p> <p>(1)委員会の開催（月1回程度）</p> <ul style="list-style-type: none"> ①職能委員会（4/21、5/19、6/16、7/18、8/17、9/19、10/17、11/21、12/19、1/16、2/20）

4. 地域ケアサービスの実施及び促進等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業（公益目的事業）

事業内容
<p>1. 在宅支援事業の推進</p> <p>1) 地域包括ケアシステムの充実に向けた交流会等の開催</p> <p>(1)地域包括ケアに関する看看連携交流会（2回/年）（9/30、1/27 [*中止]）看護職連携構築ネットワーク会議との合同開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 9/30「長崎市における医療的ケア児への支援体制の現状と課題～看護職が担う役割と支援の方向性について～」 10施設 17名参加 講演1 講師：長崎県医療的ケア児支援センター センター長 岡田 雅彦 講演2 講師：訪問看護ステーション鳴見 管理者 松島 由美 <p>(2)長崎市地域包括ケアシステム推進室との意見交換会</p> <p>(3)西彼地区の地域包括ケアに関する意見交換会</p>
<p>2) 地域交流推進活動</p> <p>(1)「看護の日」記念行事の開催時、出張健康応援等の活動の推進、「元気なうちから手帳」の普及活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 5/20「看護の日」記念行事参加「元気なうちから手帳」の啓発（236冊配布） 場所：ベルナード観光通 参加協力：長崎市地域包括ケアシステム推進室 係長 荒木 みずほ、白石 華怜
<p>3) 自治体が開催する地域包括ケアシステム推進に係る会議等への参画</p> <p>(1)地域医療構想調整会議、地域包括ケアシステム推進会議等への参加</p>

5. 人々の健康生活に必要な知識・技術並びに看護の心の普及啓発に関する事業（公益目的事業）

事業内容

1. 健康相談、健康講座の開催

1) まちの保健室事業の推進

(1) 「まちの保健室」の開催

① 定期開催（浜町アーケード）月1回 無料会場の都合により未開催（4月～10月現在）

② 地域イベントへの参加（学園祭・春フェス・秋フェス）

・ 4/30 長崎市健康づくり課主催「元気が一番たい！春の健康祭り～知ろう 防ごう 生活習慣病～」

場所：長崎ブリックホール 内容：血圧測定、血管年齢測定 参加市民：256名

③ 「看護の日」記念行事の開催時、出張健康応援等の活動の推進、「元気なうちから手帳」の普及活動（再掲）

・ 5/20 「看護の日」記念行事参加「健康相談や予防指導を通じ地域住民と触れ合おう～看護の心をみんなの心に～」

場所：ベルナード観光通 内容：腹囲、体温、血管年齢、血圧の測定（スタンプラリー形式）測定参加者：224名

④ 11/12 長与町役場健康保険課主催「ながよ健康広場」

場所：長与町役場1階ホール 内容：体温、血管年齢、血圧の測定、乳がんモデルでのチェック体験 他

2) 「看護の日・看護週間」行事による「看護の心」の普及活動

(1) 「看護の日」記念行事の開催：5月20日

場所：ベルナード観光通 内容：看護に関するパネル展示、健康相談・健康チェック、進路・就業相談 他

参加市民：約790名 アンケート：配布500、回収176（回収率35.2%）

(2) ふれあい看護体験の実施（オンライン開催）：12/16開催 7校73名、進路指導教諭7名、計80名参加

講演①：長崎市医師会看護専門学校 第1看護学科 科長 糟谷 操子

講演②：長崎みなとメディカルセンター 救命救急センター 副看護師長 谷 賢介

講演③：長崎掖済会病院在宅事業所 訪問看護ステーションえきさい 訪問看護師 小川 正臣

3) 会員・非会員看護職に向けた広報活動の充実

(1) 支部事業に関する情報提供

① 県南支部研修会開催案内、アンケート結果等を県協会会報へ掲載（年3回）

② 県協会ホームページ支部活動管理・更新（支部事業に関する情報提供）

4) 事業運営の充実に向けた活動

(1) 委員会の開催（月1回程度）

① まちの保健室委員会（4/14、6/24、8/21、10/16、12/18、3/25）

② 看護の日委員会（4/21、5/19、5/20、6/24、7/21、8/18、9/15、10/20、11/17、1/19、2/16、3/15）

9. その他本協会の目的を達成するために必要な事業（法人管理に関する事業）

事業内容

1. 会員支援に関する事業
 - 1) 会員向けサービスの提供
 - (1) 会員の福利厚生
 - ① 表彰者の推薦
2. 渉外活動
 - 1) 重点事業に関する渉外活動
 - (1) 行政への要望活動（県協会との連携）
 - (2) 行政・関連機関の審議会等への委員派遣
 - 2) 関連団体等との連携
 - (1) 地域関連の会議・委員会等への協力
 - ① 暴力追放「いのちを守る」長崎市民集会 周知
 - ② 健康長崎市民21「企業で歩こーで」周知
 - ③ まちななかラウンジ 周知（市民健康講座、まちななかサロン）
 - (2) 関係団体への委員の派遣や推薦協力・開催時随時参加
 - ・ 済生会長崎病院地域医療支援病院運営委員会（4/26、7/26、11/1、1/24）
 - ・ 長崎みなとメディカルセンター地域医療支援病院運営委員会（6/19、9/8、2/26）
 - ・ 日本赤十字社長崎原爆病院地域医療支援病院運営委員会（5/23、8/22、11/28、2/28）
 - ・ 「第2次健康長崎市民21」市民推進会議（5/11、3/15）
 - ・ 長崎市障害者施策推進協議会（6/9、11/28）
 - ・ 長崎区域地域医療構想調整会議（7/31、2/20）
 - ・ 西彼地域保健医療対策協議会（8/30、11/21）
 - ・ 地方独立行政法人長崎市立病院機構評価委員会（8/3、8/21、8/22）
 - ・ 長与町介護保険運営協議会（8/31、11/16、1/24、2/19）
 - ・ 長崎市地域包括ケア推進協議会（10/2）
 - ・ まちななかラウンジ連携調整会議推進委員会（9/26、2/27）
 - ・ 長崎市地域保健医療対策協議会（11/14）
 - ・ 長崎市社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会（11/16）
 - ・ 長崎地域リハビリテーション連絡協議会（1/24）
 - ・ 長崎市保健所運営協議会（1/19、3/21）
 - ・ 長崎市表彰審査委員会（2/15）
 - ・ 長崎市防災会議（3/25）
 - ・ 長崎市献血推進協議会（1/25）
 - ・ 長崎市社会福祉協議会評議員（6/27、3/21）
 - ・ 長崎市民権教育・啓発審議会（8/21）
 - ・ 長崎市高齢者虐待防止ネットワーク運営委員会（8/21、3/7）
 - ・ 長崎市介護相談員（9/12、11/17、12/13、2/21）
 - ・ 長崎市介護認定審査会（定例）
 - ・ 長与町介護保険認定審査会（定例）
 - ・ 長崎市障害支援区分認定審査会（定例）
3. 法人管理に関する事業
 - 1) 公益法人事業の推進
 - (1) 総会・職能集会への参加
 - (2) 理事会・支部長会議への出席
 - 2) 事業等の円滑な運営
 - (1) 支部会員集会（紙面報告）（年1回）6/24 書面会議
 - (2) 運営委員会（年12回以上）
4/27、5/25、6/22、7/27、8/24、9/28、10/26、11/30、12/21（オンライン）、1/25、2/22、3/28
 - (3) 新旧合同委員会（年1回）6/24 参加委員：59名
 - (4) 委員会の活動計画、報告
 - 3) 会員の拡充の推進
 - (1) 会員の入会促進
 - ① 役員による施設訪問、施設代表者との協力
4. 施設管理に関する事項
 - 1) 県南支部事務所の管理
 - (1) 支部事務所設備の管理、点検、保守
 - (2) 日赤移転による会館管理への協力

県央支部事業報告

1. 継続教育及び看護学会等学術集会に関する事業（公益目的事業）

事業内容
<p>1. 継続教育に関する事業</p> <p>1) 継続教育の推進</p> <p>(1)交流会の企画・運営・評価</p> <p>a. 2年目新人看護師交流会（10/21）11施設、参加者36名</p> <p>b. 支部看護研修会又は交流会（12/2）11施設、参加者18名、委員11名 講演「患者体験から看護職に求めるもの」講師：金澤きみ代 「看護師の生涯学習ガイドライン」（案）に関する再認識と周知（講義又はGW）</p> <p>c. 看護職、多職種を交えた連携構築ネットワーク連携会議の開催（2/3）諫早地区からの話題提供（案）《重3》 テーマ：人工呼吸器装着患者を在宅へ～コロナ禍の市をまたいだ多事業所の連携～ 参加者：16施設、39名（発表者3名、運営委員5名含む）</p> <p>2) 支部情報交流会に関する事業《重1-2》</p> <p>①支部情報交流会（3/2）、施設紹介、事例紹介、タスク・シフト/シェア報告等 内容を少し変更して、始めに講演「能登半島地震災害支援を終えて」 泉川病院 看護部長 平田光 その後、8施設11例 発表、参加者74名（講演者1名、発表者11名、委員13名含む）</p> <p>3) 県協会研修会への参加推進</p> <p>*看護協会会員以外にも参加を進める（クリニック、訪問看護ステーション、市町の保健師にも案内文の郵送）</p>

2. 看護職の労働環境等の改善及び就業促進等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業（公益目的事業）

事業内容
<p>1. 働き続けられる労働条件・環境づくり支援事業</p> <p>(1)施設代表者交流会（3回/年）（7/8、11/11 [中止]、12/2）</p> <ul style="list-style-type: none">・7/8 29名参加「看護職の生涯学習」と現場が抱える院内・院外教育支援の課題テーマに情報交換をする（GW）・各施設のタスク・シフト/シェアの情報交換 再掲・クリニカルラダー交流会（12/2）実施：小規模病院、クリニックの管理者対象 →「中堅及び役職の意見交換会」へ変更 講演「患者体験から看護職に求めるもの」講師：金澤きみ代 終了後、グループワーク（参加者18名）

3. 看護にかかる調査及び研究並びに看護業務及び看護制度の改善への提言等に関する事業（公益目的事業）

事業内容
<p>1) 「賃金制度」と「看護職の生涯学習」「クリニカルラダー」との連動についての理解を深める（再掲） 施設代表者交流会（3回/年）（7/8、11/11 [中止]、12/2）にて（再掲） 7/8 29名参加、12/2 14名参加</p> <p>2) 看護師業務の改善に関する事業</p> <p>(1)看護師職能委員会活動との連携 協会看護師職能委員会企画（研修会・交流会）への参加</p> <p>3) 保健師業務の改善に関する事業</p> <p>(1)保健師職能委員会活動との連携（看護職連携研修会） 協会保健師職能委員会企画（研修会・交流会）への参加</p> <p>4) 助産師業務の改善に関する事業</p> <p>(1)助産師業務の改善に関する事業</p> <ul style="list-style-type: none">・協会助産師職能委員会企画（研修会・交流会）への参加・県央地域母子保健推進協議会参加（1名） <p>5) 会員間の情報交換及び最新情報の提供</p> <p>(1)情報交換及び最新情報の提供（ホームページ等更新を各施設に連絡） 情報伝達方法を会員から意見を集め、理事会へ</p> <p>①施設代表者・看護管理者との交流会（7/8、11/11 [中止]、12/2）（再掲）</p> <p>6) 医療安全の普及に関する事業及び安全・安心な医療・看護の提供の推進</p> <p>7) 看護管理の推進 看護管理者の集い</p>

4. 地域ケアサービスの実施及び促進等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業（公益目的事業）

事業内容
<p>(1) 看看連携会議（再掲） 10/4、11/21、1/16打合せの為、Web会議開催 テーマ：人工呼吸器装着患者を在宅へ～コロナ禍の市をまたいだ多事業所の連携～ 発表者：日本赤十字社長崎原爆諫早病院 医療連携室 係長 山下かおり 聖フランシスコ病院 地域医療科 松永さおり 日本赤十字社長崎原爆病院 訪問看護ステーション 管理者 峰しのぶ 参加者：39名（発表者3名、運営委員5名含む）</p> <p>(2) 自治体が開催する地域包括ケアシステム推進にかかる会議、研修会等への積極的な参画（再掲） ① 地域医療構想調整会議、地域包括ケアシステム推進会議等への参加</p> <p>(3) 地域包括ケアシステムの充実、地域医療構想の実現に向けた看護職役割発揮のための支援 ① 保健所、市町の看護職（行政保健師）、地域包括支援センター等保健師との連携構築 ・ 諫早市健康福祉審議会 ・ 諫早市健康福祉審議会高齢福祉部会（10/19、1/10） 「在宅医療・介護連携のための交流会」等への積極的参画</p> <p>※ 地区長参加の会議内容を支部長へ報告、支部長より県協会へ報告</p>

5. 人々の健康生活に必要な知識・技術並びに看護の心の普及啓発に関する事業（公益目的事業）

事業内容
<p>1. 健康相談、健康講座の開催</p> <p>1) まちの保健室活動の充実</p> <p>(1) 「まちの保健室」の開催</p> <p>① 諫早地区 第2土曜日奇数月（西諫早公民館）9/9、11/11（参加者5名）、1/13（参加者6名）、3/9（参加者3名） 第4土曜日偶数月（諫早図書館）8/26（参加者13名）、10/28（参加者10名）、12/23（参加者10名）、2/24</p> <p>② 大村地区 偶数月第3土曜日（長崎県立図書館）8/19（参加者15名）、10/21（参加者22名）、 12/16（参加者36名）、2/17（参加者20名）</p> <p>③ 支部 雲仙市「愛の夢未来センター」にてまちの保健室開催 11/12（参加者55名）</p> <p>* 地域の人々への健康指導（熱中症対策、感染症対策等）長期目線で、各年代層への健康相談：多職種及び行政と共にできないかの検討</p> <p>2) 一般住民向け広報活動の推進</p> <p>(1) 依頼される地域イベント等への参加（救護班等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 島原地区花火大会 救護1名参加9/3(日) ・ のんのご諫早まつり 救護12名参加9/16(土)、9/17(日) ・ おおむら健康福祉まつり 従事者10名参加者170名 10/8(日)プラットおおむらにて 内容：手指消毒、足指力測定、血管年齢測定 ・ よらんね祭り救護2名参加11/5(日) ・ 健康しまばら福祉まつり11/26(日)復興アリーナ 従事者12名 参加者211名 ・ いさはや健康フェスティバル1/28(日)諫早文化会館開催 従事者4名 参加者85名 ・ 女・男フォーラムinいさはや2/11(日)諫早市民センター開催 従事者3名 参加者11名 <p>3) 会員・非会員に向けた広報活動の充実（再掲）</p> <p>(1) 会員への支部情報等の提供 協会だより・ホームページ、日本看護協会発刊看護情報関連冊子等の活用 会員増のための施設訪問（目標：各地区長と共に各地区2施設/年以上）</p> <p>4) 「看護の日・看護週間」行事による「看護の心」の普及促進</p> <p>(1) 看護の日記念事業の開催（5/13）講演「訪問看護の仕事」講師 鈴木病院 原富ゆかり、宮崎病院 廣田カツエ、 訪問看護ステーション結糸 木口綾子 地域住民へ訪問看護の活用等周知 参加人数：300名 1日看護体験者14名参加</p> <p>(2) ふれあい看護体験の実施、中・高校への広報、協力医療機関等の依頼（各地区、訪問看護事業所にも依頼）</p> <p>① 中・高校への広報、協力医療機関等の依頼（諫早地区、大村・東彼地区、島原・南島原地区、雲仙地区） 8/1開催 諫早地区12施設（愛野記念病院含む）35名参加 大村・東彼地区4施設 21名参加 島原・南島原地区 7施設 29名参加</p>

9. その他本協会の目的を達成するために必要な事業（法人管理に関する事業）

事業内容

1) 会員支援に関する事業

- (1)各施設の問題点把握をし、県協会及び理事会で報告する、県協会と各施設との橋渡しをする
- (2)会員向けサービスの提供
 - ①会員の福利厚生 表彰者の推薦

2) 渉外活動

- (1)行政、関連機関、団体等の会議等への参加、情報交換。内容は会長へ報告する。

- ・ 諫早市健康づくり推進協議委員会 (5/22)
- ・ 川棚医療センター地域運営会議 (6/22、9/28、11/30、2/22)
- ・ 県南保健所調整会議 (8/9、2/16) Zoom
- ・ 諫早総合病院地域運営会議 (8/17、11/16、2/15)
- ・ 県央保健所調整会議 (9/6、10/23、2/19) Zoom
- ・ 諫早市福祉審議会医療部会 (9/1)
- ・ 諫早市地域包括ケア推進会議 (11/13)
- ・ 大村市民病院市民運営会議 (11/14、2/7)
- ・ 大村市在宅セミナー (1/18)
- ・ 県央地域リハビリテーション会議 (1/25)
- ・ 大村市福祉審議会 (2/15)
- ・ 長崎県看護学校卒業式 (3/1)
- ・ 向陽看護専攻科卒業式 (3/4)
- ・ 諫早市防災会議 (3/26)
- ・ 諫早市国民保護協議会 (3/26)
- ・ 令和6年度全国高等学校体育大会諫早市実行委員会 (5/30、12/12、3/25)
- ・ 「女・男フォーラムinいさはや」実行委員会 (7/19、10/4、11/29、2/11)
- ・ 糖尿病予防のつどい 代表者会議 (6/9、7/28)
- ・ 健康しまばら福祉まつり 関係者会議 (7/28、10/25)
- ・ 南島原市健康福祉まつり 協力団体会議 (10/19)
- ・ 島原医師会看護学校 宣誓式 (11/22)
- ・ 県南地域リハビリテーション連絡協議会 (1/25)
- ・ 県南圏域職域連携推進協議会 (2/9)
- ・ 「のんこの街踊り」事前説明会 (8/24)

3) 法人管理に関する事業

(1)諸会議の円滑な運営

- ①総会 (6/17) 三職能交流会への参加
- ②理事会・支部長会議への出席 5/20、7/15、9/16、11/18、1/20、3/17)
- ③支部会員集会 (1回/年) (6/24) 参加者76名
- ④支部運営委員会 (1回/月) 4/21、5/16、6/13、7/8、8/8、9/20、10/24、11/28、12/19、1/16、2/20、3/19)
- ⑤拡大委員会 (2回/年) 4/21 参加者55名、6/24 参加者55名

(2)事業等の円滑な運営

- ①各地区の定例委員会
(大村地区、島原・南島原地区、雲仙地区)
- ②委員会の開催 (教育、会員、看護の日、まちの保健室)

(3)会員の拡充の推進 (再掲)

- a. 会員増加にむけてポスターを作成し施設・学校へ案内文送付 (県協会執行部及び地区長と支部長における施設訪問)
- b. 看護学校の入学式及び卒業式等への出席
- c. 事業・交流会の機会活用
- d. 施設代表者交流会で必ず議題とする：施設代表者の意識の統一を図る (問題点の共有を図る)
- e. 協会会員のメリットの模索 (支部長会との連携) 会員の増に対する支部会員の意見を聴取し、理事会へ報告 (年会費、研修費等も含む) (再掲)

県北支部事業報告

1. 継続教育及び看護学会等学術集会に関する事業（公益目的事業）

事業内容
<p>1. 継続教育に関する事業</p> <p>1) 継続教育の推進</p> <p>(1) 支部交流会の企画・運営・評価</p> <p>① 2年目看護職員交流会 日時：8/26(土) 14:00～16:00 参加者：9名 講師：佐世保共済病院 看護部次長 認定看護管理者 森山 栄子</p> <p>② 施設代表者交流 日時：11/18(土) 14:00～16:00 参加者：17名 講師：佐世保共済病院 看護部長 山崎 純子 テーマ：タスク・シフト/シェアについて</p> <p>2) 支部看護研究に関する事業</p> <p>(1) 長崎県看護キャリア支援センター文献検索の活用</p> <p>3) 県協会研修会への参加推進</p> <p>(1) 研修センター教育計画参照 (2) 県協会主催教育担当者会議への出席</p>

2. 看護職の労働環境等の改善及び就業促進等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業（公益目的事業）

事業内容
<p>1. 働き続けられる労働条件・環境づくり支援事業</p> <p>1) 「就業可能な看護職の働き方」看護職の就業継続を可能とする5要因10項目について周知・広報</p> <p>2) 各施設のタスク・シフト/シェアに関する情報交換 11/18 施設代表者交流にて実施（再掲）</p> <p>3) 看護職員の確保定着推進（同上）</p> <p>(1) ナースセンターとの連携 (2) 看護キャリア支援センターとの連携 長崎県看護キャリア支援センター運営会議への出席 4/24 9/25 12/15</p>

3. 看護にかかる調査及び研究並びに看護業務及び看護制度の改善への提言等に関する事業(公益目的事業)

事業内容
<p>1) 看護師業務の改善に関する事業</p> <p>(1)協会看護師職能委員会企画(研修会・交流会)への参加 職能運営委員会(1回/月) 4/6 5/2 6/1 7/6 8/3 10/5 11/2 12/7 1/11 2/1 3/7)</p>
<p>2) 保健師業務の改善に関する事業</p> <p>(1)協会保健師職能委員会企画(研修会・交流会)への参加</p>
<p>3) 助産師業務の改善に関する事業</p> <p>(1)協会助産師職能委員会企画(研修会・交流会)への参加</p>
<p>4) 会員間の情報交換及び最新情報の提供</p> <p>(1)情報交換及び最新情報の提供</p> <p>①施設職員交流会(1回/年) 日 時:10/14(土) 14:00~16:00 参加者:35名 講 師:長崎労災病院 医療安全管理者 福丸 由美子 テーマ:KYT~危険予知トレーニング~</p> <p>②県協会会報の「地区支部だより」にて情報発信(3回/年) 89号(R5.4月発行)90号(R5.8月発行)91号(R6.1月発行)</p> <p>③県協会ホームページの「支部活動」にて情報発信(適宜)</p>
<p>5) 医療・看護・介護の安全の普及に関する事業(県協会事業との連携)</p>

4. 地域ケアサービスの実施及び促進等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業

事業内容
<p>1) 在宅支援事業の推進</p> <p>(1)地域包括ケアシステムの充実に向けた会議・研修等の開催</p> <p>①「在宅医療・介護連携のための交流会」への積極的な参画 看護職連携構築ネットワーク会議 日 時:2/3(土)14:00~16:00 参加者:38名 場 所:長崎県看護キャリア支援センター 話題提供:佐々町多世代包括支援センター(地域包括支援センター) 保健師 上村 芙美 テーマ:地域包括ケアシステムの充実を目指して 「いつまでも住み慣れた地域で暮らしたい ~そんな願いをかなえるために~」 話題提供:佐世保共済病院 医療連携室 認知症看護認定看護師 久田 大貴 テーマ:在宅での生活が困難な認知症患者への支援について ~看護職の連携を考える~</p> <p>(2)自治体が開催する地域包括ケアシステム推進に係る会議、研修会等への積極的な参画</p> <p>①「在宅医療・介護連携推進事業」による事業等への協力と積極的参画</p> <p>②「地域医療構想調整会議」への参加 協議事項の還元は、理事会や県北支部報告会等で県協会及び会員に情報提供</p>

5. 人々の健康生活に必要な知識・技術並びに看護の心の普及啓発に関する事業（公益目的事業）

事業内容

1. 健康相談、健康講座の開催
 - 1) まちの保健室活動の充実
 - (1)「まちの保健室」の開催
あたご荘 4/22（訪問者数 32名）2/3（訪問者数 53名）
 - (2)長崎口のリハビリテーション研究会 実務者研修
 - 2) 住民対象の講座等の開催
 - 3) 相談事業の推進
 - 4) 一般住民向け広報活動の推進
 - (1)地域イベント等への参加
 - ①平戸市健康福祉まつり
日時：10/29(日) 9：30～15：30 場所：平戸文化センター
実施内容：健康相談・血圧測定・血管年齢測定 他
訪問者数：108名
 - ②デンタルフェスティバル
日時：6/4(日) 11：00～14：00 場所：まちなかコミュニティセンター、佐世保三ヶ町商店街
実施内容：血圧測定・血管年齢測定・乳がん触診体験・健康相談・パンフレットでの指導
訪問者数：76名
 - (2)協会事業等のPR
 - ①協会案内、看護の心普及ポスター等の活用
 - ②地域活動をとおしてPR
- 5) 会員内外に向けた広報活動の充実・会員及び看護職員への情報提供の充実
 - (1)会員への情報周知
協会だより・ホームページ、日本看護協会発刊看護情報関連冊子等の活用
 - (2)支部情報等の提供
 - ①県会報の「地区支部だより」にて情報発信（3回/年）
89号（R5.4月発行）90号（R5.8月発行）91号（R6.1月発行）
 - ②県ホームページの「支部活動」にて情報発信（適宜）
- 6) 「看護の日・看護週間」行事による「看護の心」の普及促進
 - (1)看護の日記念事業
 - ①「看護の日」フェスタ開催 5/13(土)開催の準備をしていたが、雨天のため中止
 - ②看護週間に全会員がバッジ着用 5/7～5/13（かんごちゃんバッジ1,000個作成、会員施設へ配布）
 - ③地域事業等でのPR、取材等への積極的対応等
 - (2)ふれあい看護体験の実施
高校への広報、協力医療機関等の依頼（各地区、訪問看護事業所にも依頼）
【代替企画にて開催】
日時：11/4(土)14：00～17：00 参加者：43名
体験談発表：新卒看護師2名（藤山 有生 山田 久瑠実）、卒後3年目看護師2名（種田 紗希、武田 佑菜）
看護技術体験：①バイタルサイン測定 ②車いす試乗 ③手浴 ④シーツ交換
その他：記念撮影

9. その他本協会の目的を達成するために必要な事業（法人管理に関する事業）

事業内容			
1) 会員支援に関する事業			
2) 渉外活動			
(1)重点事業に関する渉外活動			
①施設訪問			
(2)関連団体等との連携			
①関係団体の会議等への参加、情報交換、委員等の派遣			
地域医療支援病院運営委員会	5/16 (オンライン)	2/13 (オンライン)	
令和6年度全国高等学校総合体育大会佐世保市実行委員会	6/9		
デンタルフェスティバル関係団体合同会議	5/22		
佐世保市歯・口腔の健康づくり推進協議会	7/7		
佐世保市歯・口腔の健康づくり専門部会 (子ども期・成人期)	7/20 (オンライン)		
佐世保県北区域医療構想調整会議	8/2 (オンライン)	2/28 (オンライン)	
平戸市福祉健康まつり実行委員会	8/1	10/6	
佐世保市地域保健医療対策協議会	9/1 (オンライン)	11/30 (オンライン)	
地方独立行政法人佐世保市総合医療センター及び地方独立行政法人北松中央病院評価委員会	10/12(オンライン)		
佐世保市総合防災訓練	9/1		
西海市医療人材出前講座への講師派遣	10/12	10/19	
10/12:長崎労災病院 看護師4名			
10/19:佐世保中央病院 看護師1名、長崎労災病院 看護師4名			
佐世保地域リハビリテーション連絡協議会	2/1 (オンライン)		
②歳末助け合い募金への協力			
・各施設から総額200,779円の寄付			
【内訳】			
佐世保市社会福祉協議会	100,000円	松浦市社会福祉協議会	35,000円
平戸市社会福祉協議会	35,000円	西海市社会福祉協議会	25,000円
日本赤十字社長崎県支部	5,779円		
3) 法人管理に関する事業			
(1)諸会議の円滑な運営			
①理事会・支部長会議出席	5/20	7/15	9/16 11/18 1/20 3/16
②報告会 (1回/年) (オンライン開催)			
日時:6/23(金) 17:45~18:45 場所:県北支部事務所より配信 参加者数:97名			
③支部運営委員会 (1回/月)	4/12	5/19	6/14 7/12 9/13 10/11 11/8 12/13 1/10 2/14 3/13
(2)公益法人事業の推進			
①公益事業執行・運営体制の強化 (会員への周知)			
(3)事業等の円滑な運営			
①委員会の開催			
支部会員集会 (1回/年) 各種委員会 (1回/月)			
研修運営委員会	4/26	5/24	6/28 7/26 8/23 9/27 10/25 11/22 12/27 1/24 3/27
事業運営委員会	4/25	5/30	6/27 7/25 8/22 9/26 10/24 11/28 12/26 1/23 2/27 3/26
総務運営委員会	4/6	5/25	6/15 7/6 8/3 9/7 10/5 11/2 12/7 2/1 3/7
会計運営委員会	4/6	5/11	6/8 7/6 8/4 9/7 10/5 11/7 12/7 1/10 2/14 3/7
(4)会員の入会促進と管理 (個人情報保護法遵守)			
①会員募集			
a 看護学校の入学式及び戴帽式、卒業式等への出席			
佐世保市立看護専門学校 戴帽式	11/17		
佐世保市医師会看護専門学校 卒業式	3/2		
佐世保市医師会看護専門学校 准看護科閉科式	3/2		
佐世保市立看護専門学校 卒業式	3/9		
b 事業・研修の機会活用			
②施設職員交流会の開催 (1回/年) (再掲)			
4) 施設管理に関する事項			
(1)県北支部事務所の管理			
①機器等設備の管理、運営			

下五島支部事業報告

1. 継続教育及び看護学会等学術集会に関する事業（公益目的事業）

事業内容
1) 継続教育に関する事業 (1)研修の企画・実施・評価 ①本部からの研修プログラムへの参加 研修センター教育計画参照 協会研修会への参加推進 ②離島就業看護職研修（長崎県看護キャリア支援センター事業への協力） 開催日：10/28 10：00～12：00 テーマ：有効なポジショニングの実際 講師：株式会社ケーブ福岡営業所 中村 直人所長 ③4 離島交流研修会 対馬支部、上五島支部からの配信 →1年に1支部担当へ変更、今年度は上五島からの配信 開催日：2/17 10：30～12：00 テーマ：緩和ケアについて 講師：長崎県上五島病院 診療部長 永安 忠則 ④県協会教育担当者会議への出席 10/3『看護職の生涯学習ガイドライン』説明会オンライン出席

2. 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業（公益目的事業）

事業内容
1) 勤務環境改善への取り組み支援事業 (1)看護職の働き方改革推進事業 ①「就業可能な看護職の働き方」看護職の就業継続を可能とする5要因10項目について周知・広報 ②各施設のタスク・シフト/シェアについて情報交換 (2)看護職の確保定着促進 ①ナースセンターとの連携 ②「しまで活躍するナース達」への情報提供及び配布

3. 看護にかかる調査及び研究並びに看護業務及び看護制度の改善への提言等に関する事業（公益目的事業）

事業内容
1) 看護師業務の改善に関する事業 (1)協会看護師職能委員会企画（研修会・交流会）への参加
2) 保健師業務の改善に関する事業 (1)協会保健師職能委員会企画（研修会・交流会）への参加
3) 助産師業務の改善に関する事業 (1)協会助産師職能委員会企画（研修会・交流会）への参加
三職能合同交流会開催 基調講演「全世代型地域包括システム」における看護職の役割 ワークショップ「在宅での看取りについて」 日時・場所： 6/17 13：30～16：15 長崎県五島中央病院講義室（本部からの配信）

4. 地域ケアサービスの実施及び促進等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業（公益目的事業）

事業内容
1) 在宅支援事業の推進 (1)地域包括ケアシステムの充実、地域医療構想等の実現に向けた看護役割発揮のための支援 ①保健所・市町の看護職（行政保健師）、地域包括支援センター等保健師との連携構築 7/25第1回五島市老人福祉計画・介護保険事業計画策定協議会出席、8/22第1回五島区域地域医療構想調整会議出席 8/24第1回五島市地域包括センター等運営会議出席 10/17五島保健所地域・職域連携推進協議会出席 11/21第2回五島市老人福祉計画・介護保健事業策定協議会出席 2/21第2回五島区域地域医療構想調整会議出席、3/14第2回五島市地域包括センター等運営会議出席

5. 人々の健康生活に必要な知識及び技術並びに看護の心の普及啓発に関する事業（公益目的事業）

事業内容
1) 健康相談、健康講座の開催 (1)「まちの保健室」の開催 ①「看護の日」5/13(土)10時～12時実施、商業施設にて ②地域からの依頼によるイベントタイアップ型開催・・・「救急の日」「長崎県五島中央病院健康まつり」他 9/4(月)10時～12時「救急の日」、商業施設にて「まちの保健室」協力開催 (2)住民対象の講座等の開催 ①地域住民への公開講座 ・地域イベント等への参加 ②地域住民の自主活動支援、ボランティア活動支援 ・6/7「五島長崎国際トライアスロン大会」メディカルスタッフ事前協議会出席 ・6/18「五島長崎国際トライアスロン大会メディカルスタッフ派遣 ・9/6五島国際トライアスロン大会メディカル反省会出席 ・2/25つばきマラソンメディカルスタッフ派遣 (3)相談事業等の推進 ①「まちの保健室」 (4)会員・非会員看護職に向けた広報活動の推進 訪問看護ステーション会議へ訪問し、入会促進を行った。 (5)「看護の日・看護週間」行事による「看護の心」の普及促進 ①看護の日記念事業の開催 5月13日(土)実施、ポスター・チラシの配布 (6)「看護の心」普及事業（次世代育成） ①高校生の一日子看護体験広報・周知の拡大 ・「ふれあい看護体験」未実施

9. その他本協会の目的を達するために必要な事業（収益事業等／法人管理に関する事業）

事業内容
1) 法人管理に関する事業 (1)公益法人事業の推進 ①長崎県看護協会（本部）との連携・協力 (2)諸会議の円滑な運営 ①通常総会への参加 ・令和5年長崎県看護協会通常総会 日時：6月17日(土)9：30～12：10 場所：長崎県五島中央病院講義室（本部からの配信） ・支部運営会議 4/18 5/13 6/17 7/18 9/19 10/17 12/19 1/16 2/27 ②理事会への参加・4回以上/年 5/20 7/15 9/16 11/18 1/20 3/16 ③支部長会議への参加 2回以上/年 5/20 7/15 9/16 1/20 3/16 (3)会員の入会促進と管理（個人情報保護法遵守） 10/20 訪問看護ステーション会議に訪問 2/17の4離島研修会の時に参加した非会員への入会促進 ①入会促進（入会案内冊子、しまで活躍するナース達 等の活用） ②新人看護職員等への周知と入会勧奨

上五島支部事業報告

1. 継続教育及び看護学会等学術集会に関する事業（公益目的事業）

事業内容
<p>1. 継続教育に関する事業</p> <p>1) 継続教育の推進</p> <p>研修会の企画・運営・評価</p> <p>(1)通配信機器活用による研修</p> <p>(2)4 離島間配信研修会（2回/年予定）</p> <p>発信支部：上五島支部→2/17(土)10：30～12：00 「基本的な緩和ケアについて」</p> <p>長崎県上五島病院 診療部長 外科医師 永安忠則 ➡全体66名参加あり</p> <p>(3)支部研修会</p> <p>施設看護職員情報共有交流会</p> <p>7/29(土)13：30～17：00「健康で元気に働き続けるためのメンタルヘルスケア」オンライン受講後、交流会</p> <p>参加者15名</p> <p>2) 県協会研修会への参加推進</p> <p>(1)研修センター教育計画参照</p> <p>(2)協会研修会への参加推進</p> <p>(3)長崎県看護キャリア支援センター事業への協力・参加</p> <p>離島就業看護者研修会 開催日：10/21</p> <p>テーマ：職場におけるハラスメント～職員間のパワハラと患者家族からのペイハラを回避するための対処法～</p> <p>講師：弁護士ふくごぎ法律事務所 弁護士 福崎 博孝 参加者21名</p> <p>(4)県協会教育担当者会議への出席</p>

2. 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業（公益目的事業）

事業内容
<p>1. 健康で安全に働き続けられる職場づくりの推進</p> <p>1) 看護職の働き方改革の推進</p> <p>(1)「就業可能な看護職の働き方」看護職の就業継続を可能とする5要因10項目について周知・広報</p> <p>(2)夜勤・交代制勤務に関する活動推進</p> <p>(3)プラチナ世代看護職の勤務継続支援</p> <p>(4)タスク・シフト/シェアについての情報交換</p> <p>2) 看護職員の確保定着推進</p> <p>(1)ナースセンター事業との連携 届出制度の周知</p> <p>(2)「しまで活躍するナース達」への情報提供</p>

3. 看護にかかる調査及び研究並びに看護業務及び看護制度の改善への提言等に関する事業（公益目的事業）

事業内容
<p>1. 看護師業務の改善に関する事業</p> <p>1) 看護師業務の改善に関する事業</p> <p>(1)協会看護師職能委員会企画（研修会・交流会）への参加</p> <p>2) 保健師業務の改善に関する事業</p> <p>(1)協会保健師職能委員会企画（研修会・交流会）への参加</p> <p>3) 助産師業務の改善に関する事業</p> <p>(1)協会助産師職能委員会企画（研修会・交流会）への参加</p> <p>4) 会員間の情報交換及び最新情報の提供</p> <p>(1)情報交換及び最新情報の提供：研修会等の活用</p>

4. 地域ケアサービスの実施及び促進等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業（公益目的事業）

事業内容
1. 在宅支援事業の推進 1) 地域包括ケアシステムの充実にに向けた会議・研修会等の開催 (1)地域包括ケアシステムに関する看護職連携を図る交流会・学習会の開催 2) 自治体が開催する地域包括ケアシステム推進に係る会議、研修会等への積極的な参画 (1)地域包括ケアシステムに関する会議等への参加 (2)上五島地域保健医療対策協議会への協力→11/9(木)18:00~20:00 上五島保健所 「長崎県第7次医療計画の進捗状況について」長崎県第8次医療計画の策定について」

5. 人々の健康生活に必要な知識及び技術並びに看護の心の普及啓発に関する事業（公益目的事業）

事業内容
1. 健康相談、健康講座の開催 1) まちの保健室活動の充実 (1)健康・看護・介護等の相談事業 5/7(日)うどんの里 12/17(日)鯨賓館ミュージアム 3/17(日)うどんの里 (2)看護協会事業等のPR (3)地域のイベント時に開催 → 4/30(日)ジョギングフェスティバルへ救護として1名参加 12/10(日)駅伝フェスティバル 救護2名参加 2/11(日)上五島病院にて病院フェスタ開催 まちの保健室を実施 2) 住民対象の講座等の開催 (1)出前講座等の開催 3) 一般住民向け広報活動の推進 (1)地域イベント等への参加協力 ・12/17(日)新上五島町地域包括支援センター主催 地域包括ケアシステム映画上映会への協賛 (2)看護協会事業等のPR 地域活動を通してPR、看護の心普及ポスター等の活用 4) 「看護の日・看護週間」行事による「看護の心」の普及 (1)看護の日記念事業の開催 5/7(日)うどんの里にてまちの保健室として開催 (2)ふれあい看護体験（施設見学・看護体験等）の実施 →8/9(水)13:30~17:00 島内高校生対象 上五島病院 （台風接近のため中止） 高校生への広報、協力医療機関等の依頼（各地区、訪問看護事業所にも依頼）

9. その他本協会の目的を達するために必要な事業（法人管理に関する事業）

事業内容
1) 会員・非会員に向けた広報活動の推進 (1)会員及び看護職員への情報提供の充実 (2)会員への情報周知 (3)協会だより・ホームページの活用 (4)日本看護協会発刊看護情報関連冊子等配布 2) 渉外活動 (1)重点事業に関する渉外活動 (2)関連団体等との連携 地域関連の会議・委員会等への参加、情報交換、委員等の派遣 ①上五島地域保健医療対策協議会委員 ②上五島地域・職域連携推進協議会 →R6年1/30(火)16:30~18:00 上五島保健所開催 ③上五島地域若者定着促進連携会幹事 →上五島地区若者定着促進連携会議 総会参加5/30(火)13:30~15:00 ④上五島区域地域医療構想調整会議 →4月末書面での開催「小値賀診療所の病床現象について」 →R6年2/8(木)18:00~19:00 上五島保健所にて開催 ⑤令和5年度第2回上五島市域医療構想調整会議及び令和5年度第1回上五島地域保健医療対策協議会 8/31参加 3) 法人管理に関する事業 (1)諸会議の円滑な運営 ①県通常総会参加 ②理事会・支部長会議への出席 4) 事業等の円滑な運営 ①支部報告会（1回/年） ②支部運営委員会開催（1回/月程度）→4/13(木)5/18(木)6/17(日)7/6(木)9/14(木)10/21(土)12/7(木) 5) 会員の入会拡充と管理（個人情報保護法遵守） (1)会員増加への働きかけ ①新人看護師および採用者、施設看護職員への働きかけ 入職時オリエンテーションで説明 ②「入会案内」の活用 ③事業・研修機会の活用

壱岐支部事業報告

1. 継続教育及び看護学会等学術集会に関する事業（公益目的事業）

事業内容
1. 継続教育に関する事業 1) 継続教育の充実推進 (1)研修の企画・運営・評価 ①離島間通配信研修会 日時：2/17(土)10：30～12：00 場所：壱岐病院第1会議室 上五島支部よりZOOM配信 テーマ：がんの緩和ケアについて 講師：永安 忠則 10名参加 (2)県協会研修会への参加推進 ①研修会参加のための経費助成 (3)長崎県看護キャリア支援センター事業への協力 ①離島就業看護職員研修 日時：10/7(土)13：30～15：00 場所：壱岐病院第1会議室 テーマ：アンガーマネジメント 講師：ツナグバサンカク 共同代表 川寄 昌子 18名参加 (4)県協会教育担当者会議への出席

2. 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業（公益目的事業）

事業内容
1. 働き続けられる労働条件・環境づくり支援事業 1)「就業可能な看護職の働き方」看護職の就業継続を可能とする5要因10項目について周知・広報 2)看護職員の確保定着推進 ①「しまで活躍するナース達」への情報提供及び配布 3)看護の専門性を発揮するタスク・シフト/シェアの周知・拡大

3. 看護にかかる調査及び研究並びに看護業務及び看護制度の改善への提言等に関する事業（公益目的事業）

事業内容
1. 看護師業務の改善に関する事業 1) 看護師職能委員会活動との連携 ①協会看護師職能委員会企画（研修会・交流会）への参加 2) 保健師業務の改善に関する事業 ①協会保健師職能委員会企画（交流会・研修会）への参加 3) 助産師業務の改善に関する事業 (1)助産師業務の改善に関する事業 ①助産師の質向上に関する事業 研修会・交流会等への参加 ②母子保健の向上に関する事業 4) 会員間の情報交換及び最新情報の提供 ①情報交換及び最新情報の提供 研修会等の活用 ②交流会の開催 壱岐地区看護代表者会の開催 5) 医療安全の普及に関する事業及び安全・安心な医療・看護の提供の推進

4. 地域ケアサービスの実施及び促進等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業（公益目的事業）

事業内容
<p>1) 在宅支援事業の推進</p> <p>(1) 医療的ケア児の在宅移行支援</p> <p>① 研修会・交流会の参加</p> <p>② 行政、訪問看護、学校、保育所等、医療的ケア児に関わる関係部署との情報共有</p> <p>(2) 地域包括ケアシステム推進に係る会議、研修会等への積極的な参画</p> <p>① 地域包括ケアシステムに関する会議等への参加 「在宅医療・介護連携のための交流会」等への積極的な参加 岐阜県医療福祉研究大会へ参加 2/25(日)9:00～</p> <p>② 岐阜地域保健医療対策協議会への協力</p> <p>第1回岐阜区域地域医療構想調整会議へ参加 8/29(火)18:30～ 令和5年度岐阜地域保健医療対策協議会へ参加 11/14(火)16:00～ 岐阜地域リハビリテーション連絡協議会へ参加 1/16(火)17:00～ 第2回岐阜区域地域医療構想調整会議へ参加 2/7(水)18:30～</p>

5. 人々の健康生活に必要な知識及び技術並びに看護の心の普及啓発に関する事業（公益目的事業）

事業内容
<p>1. 健康相談、健康講座の開催</p> <p>(1) まちの保健室活動の充実</p> <p>① 「まちの保健室」の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域イベント時に開催（3回） ・ 市の特定健診キャンペーン参加（回数未定） 健康教育、血圧測定、健康相談 等 6/4(日)12:00～15:00 「健康づくりキャンペーン」へ2名参加 77名来場 11/5(日)9:30～12:00 「健康づくりキャンペーン」へ2名参加 31名来場 ・ 健康・看護・介護等の相談、出前講座等への講師派遣 <p>(2) 住民対象の講座等の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「第32回糖尿病教室」市民57名参加 紙面報告 <p>(3) 一般住民向け広報活動の推進</p> <p>① 地域イベント等への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 岐阜市産業まつりイベント参加 <p>② 協会事業等のPR</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 協会案内、看護の心普及ポスター等の活用 ・ 地域活動をとおしてPR 6/18(日) 少年剣道大会における救護員 看護師1名派遣 <p>(4) 会員内外に向けた広報活動の充実</p> <p>① 会員及び看護職員への情報周知、就業促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 支部ニュース（広報誌を本部で発行・年3回） ・ 協会だより・ホームページ、日本看護協会発刊看護情報 情報関連冊子等の活用 <p>② 支部情報等の提供</p> <p>③ 社会貢献への広報</p> <p>④ 地域関連の会議・委員会等への協力</p> <p>(5) 「看護の日・看護週間」行事による「看護の心」の普及促進</p> <p>① 看護の日記念事業の開催 5/14(日)9時～13時 郷ノ浦八日市にて「まちの保健室」開催 血圧測定・健康相談、[看護の日]記念グッズ、チラシ配布 まちの保健室来訪者へチラシ配布、ポスター掲示 5名参加 103名来場</p> <p>② 看護の日・看護週間「看護の心」の普及促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域事業等でのPR、取材等への積極的対応等 ・ 「看護の日」ポスター、チラシ等の活用 <p>③ ふれあい看護体験（施設見学、看護体験等）の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高校への広報、協力医療機関等（訪問看護事業所にも）の依頼 7月下旬予定→受け入れ調整ができず中止

9. その他本協会の目的を達成するために必要な事業（法人管理に関する事業）

事業内容

- 1) 会員支援に関する事業
 - (1) 会員向けサービスの提供
 - ① 会員の福利厚生の実施
 - ・表彰者の推薦 慶弔・災害見舞等
 - 2) 渉外活動
 - (1) 重点事業に関する渉外活動
 - (2) 関連団体等との連携
- 3) 法人管理に関する事業
 - (1) 諸会議の円滑な運営
 - ① 6/17(土) 通常総会参加 壱岐支部配信会場参加
 - ② 理事会・支部長会議への出席 5/20 7/15 9/16 1/20 3/16
 - ③ 支部報告会開催（1回/年）6/17(土) 紙面で配布
 - ④ 支部運営委員会開催（1回/月）4/18 5/16 6/20 7/18 9/19 10/17 12/19 1/23 2/20
 - (2) 公益法人事業の推進
 - ① 新公益事業執行・運営体制の強化（会員への周知）
 - (3) 事業等の円滑な運営
 - (4) 会員の拡充の推進
 - ① 会員増加への働きかけ
 - ・施設看護職員への働きかけ
 - ・「入会案内」冊子、「しまで活躍するナース達」等の活用
 - 新規採用者への協会入会の案内配布
 - ・事業・研修の機会活用

対馬支部事業報告

1. 継続教育及び看護学会等学術集会に関する事業（公益目的事業）

事業内容
<p>1) 継続教育に関する事業</p> <p>(1) 継続教育の推進</p> <p>研修の企画・運営・評価</p> <p>① 対馬支部研修会</p> <p>開催日：7/8 会場：長崎県対馬病院 会議室</p> <p>テーマ：認知症高齢者のアセスメントと看護</p> <p>講師：訪問看護ステーションいしずえ長崎 若浦雄也 精神科認定看護師、認知症認定看護師</p> <p>対面式</p> <p>目的：認知症高齢者の事例を通し、各施設での関わり方・接し方について意見交換・情報共有の場とし、実践に繋げる。（講義時間90分 質御応答30分 意見交換・交流会30分 2時間30分）</p> <p>参加者：68名</p> <p>② 通配信機器活用による研修（4離島間通配信研修）</p> <p>〈上五島支部配信〉</p> <p>開催日：令和6年2/17(土)10：30～12：00（質疑応答含む）</p> <p>内容：がん緩和ケアについて 看護師に求められる知識や役割</p> <p>がん等の診療やケアに携わる全ての医療従事者が基本的な緩和ケアについて理解する</p> <p>講師：長崎県上五島病院 診療部長 外科医師 永安 忠則</p> <p>参加者：13名</p> <p>③ 離島就業看護職員研修 ※長崎県看護キャリア支援センター事業への協力</p> <p>開催日：11/18 会場：長崎県対馬病院 会議室</p> <p>テーマ：災害時における看護師の役割について（感染対策を含む）</p> <p>講師：佐世保中央病院 看護師 大曲 史悦</p> <p>目的：災害時における看護師の役割と感染対策を含めた看護について学ぶ</p> <p>（講義時間90分 質御応答30分 2時間）</p> <p>参加者：32名</p> <p>(2) 県協会研修会への参加推進</p> <p>2) 看護研究に関する事業</p> <p>(1) 看護研究報告会の開催及び研修会</p> <p>開催日：3月2日(土) 会場：長崎県対馬病院 会議室</p> <p>テーマ：看護研究報告会及び講演</p> <p>4演題の発表 発表についての講評・指導 研修会</p> <p>講師：長崎精神医療センター 専門看護師 村島正俊</p> <p>目的：研究発表会と研究のテーマと文献検索について学ぶ</p> <p>（研究会60分 講義時間90分 質御応答30分 3時間）</p> <p>参加者：38名</p>

2. 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業（公的目的事業）

事業内容
<p>1) 勤務環境改善への取り組み支援</p> <p>(1) 日本看護協会の働き方改革モデルの普及</p> <p>(2) 看護職員の確保定着推進</p> <p>① 「しまで活躍するナース達」への情報提供</p> <p>② ナースセンター事業との連携 届け出制度の周知</p> <p>③ 中学・高等学校との連携、学校訪問等 高校生を対象とした職業講話および進路関連講話</p> <p>(3) 看護の専門性を発揮するタスク・シフト/シェアの周知・拡大</p> <p>対馬地域の病院、施設の看護師間の交流、情報交換会の開催</p> <p>（上地区、下地区に分かれて、施設間での意見及び情報収集）</p> <p>支部における課題把握し、施設代表者会議での情報提供</p>

3. 看護にかかる調査及び研究並びに看護業務及び看護制度の改善への提言等に関する事業（公益目的事業）

事業内容
1) 看護師業務の改善に関する事業 ①協会看護師職能委員会企画（研修会・交流会）への参加
2) 保健師業務の改善に関する事業 ①協会保健師職能委員会企画（研修会・交流会）への参加
3) 助産師業務の改善に関する事業 ①協会助産師職能委員会企画（研修会・交流会）への参加

4. 地域ケアサービスの実施及び促進等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業（公益目的事業）

事業内容
1) 在宅支援事業の推進 (1)地域包括ケアシステムの充実に向けた会議・研修会等への積極的な参画 (2)自治体が開催する地域包括ケアシステム推進に係る会議、研修会等への積極的な参画 ①対馬市の地域包括ケアシステムに係る委員会、会議等への参加 a 対馬市地域包括ケア推進会議 b 対馬市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画策定委員会 8/2 不参加 11/15参加 12/26参加 2/26参加 c 対馬市食育推進会議 7/13 参加 10/20 12/9参加 2/26参加 ②対馬市が開催する「在宅医療・介護連携推進事業」による事業への協力と積極的参画 ③「地域医療構想調整会議」8/22参加 「対馬地域保健医療対策協議会」12/5参加 「対馬地域リハビリテーション連絡協議会」 8/22参加 1/29参加

5. 人々の健康生活に必要な知識、技術並びに看護の心の普及啓発に関する事業（公益目的事業）

事業内容
1) 健康相談、健康講座の開催 (1)「まちの保健室」活動の充実 ①「まちの保健室」の開催 地域のイベント時に開催 健康・介護・看護相談の実施、血圧測定等健康チェック ・5/13 看護の日 イベント開催 血圧測定 健康相談 グッズを活用・配布 担当者・参加者10名 健康チェック者30名 健康相談者10名 ・4/23「きらきらウォーキング」参加 担当者2名 参加者：健康チェック者20名 健康相談者5名 ・5/21「城下町ウォーキング」参加 担当者2名 参加者：健康チェック者96名 健康相談者15名 ・6/25「国境マラソンIN対馬」参加 担当者3名 参加者：健康チェック者35名 健康相談者5名 ・11/11「神話の里ウォーキング」参加 担当者2名 健康チェック・健康相談者・手帳の配布 ②食育フェスタに参加予定 ・9/8 2023食育フェスタ準備会議（実行委員会）参加 ・10/20 2023食育フェスタ準備会議（実行委員会）参加 ・12/9 2023対馬市食育フェスタ参加 担当者3名 健康チェック・健康相談者・手帳の配布 44名 (2)住民対象の講座等の開催 ①住民対象の講座等の開催 看護の出前講座等への講師派遣等 地域のケーブルテレビを活用し、看護、介護講座を開催 ユマニチュードの内容を再検討し、DVDを作成して準備を行う ②看護の専門性を発揮するタスク・シフト/シェアの周知・拡大 施設の看護師間の交流を行う。アンケート調査を行い、問題点を把握する。 施設の場合には、問題や課題が明確にして、交流を深める。 (3)一般住民向け広報活動の推進 ①地域のイベント等への参加協力 ②イベント時にチラシ・グッズを活用したPR活動 (4)「看護の日・看護週間」行事による「看護の心」の普及促進 ①5/13 看護の日記念事業 ショッピングモール、バル前にてイベント開催 血圧測定 健康相談 グッズの配布 ②ふれあい看護体験 7/24～28日迄 上対馬高校性3名 実施 比田勝中学生急遽中止 7/6～8日迄 対馬市巖原中学校 5名

9. その他本協会の目的を達するために必要な事業（法人管理に関する事業）

事業内容
<p>1) 会員・非会員看護職に向けた広報活動の推進</p> <p>(1) 会員及び看護職員への情報提供の充実</p> <p>① 会員への情報周知 協会だより、ホームページ、日本看護協会発刊情報冊子等の活用</p> <p>② 県協会会報への原稿提出 3回/年</p> <p>2) 会員支援に関する事業</p> <p>(1) 会員向けサービスの提供</p> <p>① 表彰候補者の推薦</p> <p>3) 渉外活動</p> <p>(1) 重点事業に関する渉外活動</p> <p>(2) 関連団体等との連携</p> <p>① 関係団体の会議等への参加、情報交換、委員等の派遣</p> <p>a 対馬地域保健医療対策協議会 8/22参加 b 地域医療構想調整会議委員 8/22参加</p> <p>c 対馬地域リハビリテーション連絡協議会委員 d 対馬市地域包括ケア推進会議委員</p> <p>e 対馬市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画策定委員会委員 8/2不参加</p> <p>・ 対馬市食育推進会議委員 等 9/8参加</p> <p>4) 法人管理に関する事業</p> <p>(1) 諸会議の円滑な運営</p> <p>① 通常総会（対馬支部受信会場での参加） 6/17</p> <p>② 理事会・支部長会議への出席 5/20出席 6/17出席 7/15出席 9/16出席 11/18欠席 1/20出席 3/16出席</p> <p>(2) 事業等の円滑な運営</p> <p>① 支部会員集会（1回/年程度） 6/17</p> <p>② 支部運営委員会（12回/年程度） 6/17 7/8 10/7 11/18 12/9 1/13 2/3 3/2 4/21 5/11</p>